京城日報

廿一日夕刊

定價　一部金二錢　一ヶ月金五拾錢

發行所　京城太平通二丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

時間表

○借欵正式交渉開始

支那政府は十五日四國銀行團に向ひ正式に八千五百萬元借欵の交渉を開始せり(上海特電)

○對支交渉遷延か

唐紹儀氏の外交總長就任は猶未定にして支那政府の外交主任者全く不定なる爲め東亞公司との五百元借欵も遂に成立するに至らず鄭家屯事件の交渉も解決長引くに至るべしと觀測せらる(北京電報)

○遣露宮御動靜

遣露特使閑院宮殿下には既にイルクーツクを御通過遊ばされ同地にて陸軍及び地方官民の盛大なる歡迎を受けさせられたり殿下御一行は廿三日露都御著の御豫定なり(哈爾賓電報)

○三線問題協議

三線聯絡運賃距離比例制問題は内閣より鐵道院に對し再協議を命令せる結果十月五日より朝鮮側代表者寺内總督大屋鐵道局長官滿洲側代表者中村關東都督中村滿鐵總裁を鐵道院に會同し添田鐵道院總裁等參加の上聯絡運賃問題に關する再協議會を開會するに決定し鐵道院より各關係者に内達を發したり(東京電報)

○石川縣選擧事件

石川縣選擧無効事件上告審公判開廷は二十八日に延期せられたり(東京電報)

○福岡縣農學校視察團

福岡縣農學校教諭竹内秀雄氏外六十五名廿一日櫻丸にて著釜停留檢便の上午後十一時發汽車にて全州へ向ふ筈(釜山特電)

◉支那の政局

政界は混沌たり▮武斷派の對國會通告▮段を措いて支那を收拾する者無し

北京駐屯軍將校たりし歩兵中佐藤田顧一郎氏は東上の途當地にて語りて曰く

支那の時局は依然として混沌たるものにて革命軍當面の敵たる袁總統歿後は恰も嵐の後の如き觀あり往時帝政を主唱せし梁士詒、曹汝霖、睦大可、唐士鐸、王印川等は國會の帝政派處罰の決議に依り其々表面謹愼の意を表し居れるも裏面にては互に連絡を取り暗中飛躍を試みつゝあり

▲支那第一の策士 とも目すべき梁士詒は目下廣東に在りて一味徒黨と共に何等か畫策せるものゝ如し此程東上したる周自齋等も梁の手先に使はるゝ人物にて彼の日本に靜養の爲め來朝せるも亦之を裏書せるものなり趙炳麟外二十二名連署して張勳一派の武斷派の連中が副總統選擧問題或は議員の資格問題等に就き干渉的通電を發せしに對し「軍人政治干渉禁示」と云ふ建議案を提出しミリタリズム反對的運動を爲し中央集權說を主唱したるも支那現在の立場としては到底言つて實行されざる一つの書生論なり山東南方は文治派にて北方は武斷派なれば

▲氷炭相容れざる は理の當然とは謂へ若し文治派の主張するが如く各省將軍より兵馬の權を取り上げて中央集權の下に統御すてふ事は支那三千年の歴史と地理は之を許さじ故に余の意見としては此際段祺瑞の總理大臣は適任なるべく思惟さる段は北方武斷派なれども袁の帝政を夢想するや先づ第一に反對の烽火を擧げ身を西山に退き袁歿後は共和の爲めに畫策せし爲め南方文治派よりも氣受けよく號令一下の下に支那軍隊を統率するものは段を措いて他に無くマホメットが右手に正邪の利劍を翳し左手にコーランを持しが如く段は良く左右に兵政の二權を掌握し居れば彼を措いて現在の支那を

▲收拾する者なし 南方文治派の言たるや良し然れども之に兵馬の權の伴はず北方は武力あるも之に政策伴はず互に一長一短なれば南北互ひに融和せずんば亦支那は混亂の巷と化すやも計られし南北を一身に荷ひ段祺瑞、兵政二權を掌握せる彼に非ずんば馬賊上りの各省將軍を操縱する事能はず彼の北京に居る間は今のところ孫、黄の北上は望み難く假令上京するとも軍隊の後援あらざれば何等の運動も出來ざるべし外交總長は陳錦濤の兼任なれど唐紹儀北上せるを見れば彼が總長の職を承諾せるものにて彼の承諾せるには外交の事は全部一任すてふ條件つきにて任免褫奪の權も當然彼にあるべき筈なり彼は往時内閣總理たる經歴もあれば今後の外交は刮目して見るべく日支の親善を計る爲めには日本を了解せる外交家の必要あり云々(前門)

◉聯盟督軍と國會

張勳一派の督軍等は數日前張司法總長の瀆職を彈劾したるに續きて國會を彈劾し國會は國家根本の憲法問題に對して急速に進行せず唯だ細微問題を捉へて相爭ふのみ斯る國會は害あるも益無ければ速に之を解散して別に選擧を行ふ可しと政府に強要したるが今亦彼等中の七省督軍は國會が河南省長田文烈を彈劾したるを憤慨して國會は彈劾の權あるも之れに藉りて地方長官を誣陷するを得ず若し國會より地方長官の彈劾案あらば政府は公正なる大員を派遣調査せしめ若し彈劾の事實なき時は彈劾議員を反坐の律に處す可しと聯名して政府に電告したるが近來彼等一派の對國會、對民黨の攻撃は極點に達し殆んど水火不相容の形勢を現はし非常なる危機を醞釀しつゝあれば段總理は終に個人の名義を以て上記各督軍に密電を發して先づ彼等督軍は中央命令に服從するの心ありや否やを問ひ次に斯の如き突飛行動を爲して中央政府に莫大の困難を與ふる事の不都合を勸誡し最後に目下の時局に於て政府は唯だ適法の下に國會に對待するあるのみにて斷じて輕々解散する能はず又憲法は近く必ず成立し對内對外の各關係等皆定る可き事を說諭したる由されど彼等武人一派が段氏の此一電に由り翻心して其の野謀を棄むる者に非ざる事明白なれば段氏は徐世昌氏を輝縣の草廬に起こさんと勉めつゝあり(北京)

◉經濟局の閉鎖

●支那土地調査の中止●

支那の土地調査に就ては大正三年以來同國政府にて特に經界局を設け蔡鍔氏を督辦とし鋭意諸般の準備計畫を爲し一昨年同局評議員殷承瓛氏を朝鮮土地調査局に派遣し特に朝鮮に於ける土地調査に關する一切の事務を調査せしめ浩瀚なる經濟界諸規程案を制定し著々事業の進行を見るの狀況なりしに其後内外政務の紛擾を醸し一時該事業を中止せしやの風聞ありたるも當事者の努力に依り既定計畫に從ひ相當に事業進行しつゝある模樣にて朝鮮土地調査當局の如き隣邦土地調査の將來に囑望し居りし所本年八月頃諸種の事情により遂に閉局の止むを得ざるに至りしと

◉鑛業處分繁忙

八月中の鑛業出願件數は本紙既記の通りなるが之れが處分狀況を聞くに越高及び受付合計二千八百十四件の内許可せるもの四十七件其の他處分濟となれるもの三十件にして未處分數は二千七百二十七件を算し月越高の激增の傾向にて鑛務課内は之れが處理に繁忙を極め居れり

◉試驗船注文濟

水産試驗船は豫て大阪原田造船所に注文契約中なりしが此程諸般の手續を了へ全く注文濟となれり其の請負金額は二萬九千餘圓にて船體は既記の如く木造とし排水噸數六十噸に過ぎざるも諸般の設備は理想的にて行く〳〵は探海燈をも据え付く可く明年一月下旬に竣成二月中には引渡しを了る豫定なり

◉鮮露貿易視察

京城商業會議所は二十日午後一時より役員會を開會し鮮露貿易調査の爲め視察員を露領に派遣する件に就て打合せたる結果大村友之丞氏に元石川縣物產の加藤氏を通譯として附し派遣すると共に決定せり尤も議員中に渡露の希望者ある場合は大村氏は中止することゝなるべし外に東拓社員一名同行の筈なるが希望者あらば同行を申込まれたしとのことなり視察者は來月二日出發の豫定にて特に朝鮮生產品にして露西亞向商品の現品數十個を携行し實地に付き日露貿易の交渉を開始する由

◉露藏券募入高

●朝鮮は廿萬五千圓●

朝鮮銀行本支店に於て應募申込みをなせる第二回露國大藏證券の募入高は内地に於ける總額の應募非常に超過せしを以て五千圓以下の小口は全部募入とし該額以上を按分により決定する事となり結果朝鮮銀行申込み分の募入額總高は二十萬五千圓となれり

◉防疫費支出

警務總監部にては今回防疫費として臨時に五萬圓を支出したり

◉政務總監饗宴

山縣政務總監は二十二日午後零時より入京中なる製鐵所長官押川則吉氏並に吉川經理部長、江原囑托を朝鮮ホテルに招待午餐の饗應を爲す筈なるが總督府側よりは宇佐美内務部長官、大屋鐵道局長官、小松翰長等も列席す可し

◉總監茶菓饗應

山縣政務總監は二十一日午後四時より貞洞教育倶樂部に於て熊本縣教育視察團一行三十六名に對し茶菓の饗應を爲したり

◉昌德宮午餐會

李王殿下は二十一日午後零時三十分より秋山軍司令官を主賓とし山縣政務總監、小松翰長、高橋武官等を昌德宮仁政殿に招待午餐會を催されたり主人側よりは閔長官、小宮次官以下李王職主要職員參列せり

◉立花師團長檢閱

十六日夕鐵路來元十七、十八の兩日に亙り元山大隊の檢閱を行へる立花十九師團長は十九日には陽德中隊檢閱の爲め副官其他の幕僚を隨がへ同地に向け出發したるが陽德隊の檢閱終了後二十三日再び來元し二十四日發の列車にて歸龍の筈なりと

◉押川氏水原行

廿日夜入京せる押川製鐵所長官は廿一日朝南大門發水原に到り模範場の視察を爲し即日歸京す

◉忠北長官來田

柳忠淸北道長官は忠淸南道諸谷第一部長と同行にて廿日十二時二十五分來田少憩の後儒城溫泉に同行同地一泊の上歸田し當地より忠北に通ずる要路錦山街道の實地踏査を爲すべしと(大田)

◉關屋局長消息

住吉の假寓に靜養中なる關屋學務局長の消息を聞くに腦充血は快癒したるも宿痾たる神經衰弱は未だ全癒の運びに至らざるを以て此の際之れが根絶を期す可く尙當分同地に滯在療養す可しと

◉司法官異動

海州檢事正●新任●
大邱覆審法院檢事　赤井定義●
補海州地方法院檢事正

光州地方法院木浦支廳檢事　杉村逸樓●
補大邱覆審法院檢事

釜山地方法院馬山支廳檢事　堀江幸市●
補光州地方法院木浦支廳檢事

大邱覆審法院檢事　澁谷有孚●
補釜山地方法院馬山支廳檢事

大邱地方法院檢事　野田鞆雄●
補大邱覆審法院檢事

光州地方法院全州支廳檢事　外間現篤●
補大邱地方法院檢事

◉營林廠異動

營林廠中江鎭支廠長技師吉岡豪雄氏は支廠長を免ぜられ技師窪田闘平氏後任となれり

◉鹿兒島視察團

鹿兒島教育視察團は合長高岡直吉氏以下二十二名は廿七日滿洲より歸途平壤に來り廿八日入京、廿九日京城市中視察、三十日仁川に赴き同夜仁川より釜山へ向て歸國の途に就く豫定なりとの事なるが入京後開城なる專賣課、水原模範場等の視察を爲し退京の豫定なりと

◉福岡縣視察團

福岡縣立農學校朝鮮視察團職員及び生徒一行六十六名二十一日朝釜山著連絡船にて釜山上陸したるが虎疫流行地出發の爲め直に祖仙臺停留所に收容せられたるより止むなく日程變更せりと

◉熊本縣視察團

熊本縣教育研究會主催の鮮滿視察團一行三十六名は二十日夜南大門驛著汽車にて入京天眞樓に投宿せり二十一日は日出小學校以下數校を視察し午後四時より教育倶樂部にて弓削學務課長の朝鮮教育の現況に關する講話を聞き政務總監より茶菓の饗應を受けたり二十二日は諸學校並に昌德宮、景福宮中央試驗所等を視察し二十三日朝南大門驛發汽車にて平壤に赴く筈なり

◉經理部長披露宴

新任瀨經理部長は二十二日午後六時より軍司令部師團各將校、警務總監部主要職員等を朝鮮ホテルに招待新任披露宴を張ることゝなれり

◉學校組合本會議

京城學校組合會は新設學校問題に付き二十日委員會を開會したるが其結果二十二日午後一時より本會議を開きたる上一同の協贊を求むることゝなれり

▲公立小學校長會　京城學校組合にては二十二日午後一時より各小學校長を召集し虎疫豫防に關する件並に學校管理方法等に付き協議する所ありたり

◉長春より

▲露軍の食料買占　沿黑龍江總督は命令を發し鐵道沿線に於て軍隊用として五十萬圓にて魚類の買ひ占めに著手せりと▲黑龍江の初雪　黑龍江と松花江の合流地方にては本月十二日初雪ありたりと▲松花江上流の大降雪　松花江上流磐口縣地方大降雪ありて二呎半の水嵩を增し停船中の汽船航行を初め結氷終航期も近きにあり增水は沿岸民は勿論の事材木商間には非常に喜び居れりと

元山

▲中道長官巡視　中成南道長官は元山府及び附近各郡の視察をなすべく十八日夕穩城丸にて著元し十九日午前中は元山府廳に於ける事務の視察を行ひ更に午後德源郡方面に向へり▲石井書記長出發　元山商業會議所書記長石井彦三氏は書記長後任未定の爲め村上書記に事務諸般の引繼ぎをなし二十日午前九時四十五分家族同伴にて鐵路新任地に向けて出發したり▲書記長後任未定　元山商業會議所に於ては前記石井書記長の辭職轉任後安東書記又々某方面に轉職すべく辭表を提出したるや現今頗る商工務多端の折柄今後僅に二名の書記にては到底充分なる事蹟を擧ぐるに難からんか會議所事務進捗上甚だ憂ふべき結果を來すや必せり故に會議所は之れが後任に就き頻りに人選中にて既に某役員の手許に二三の履歴書到達し居れるも未だ決定せず▲漁撈傳習　元山府及び德源郡の希望者に對し漁撈傳習の目的にて咸南道廳より八月中旬元山海岸通に事務所を設置せしに折柄教師病氣の爲め延期中のところ愈本月十五日より漁撈傳習の開始を見るに至れり▲學校組合會召集　元山學校組合は來る二十五日午前九時より府廳内に於て一、土地處分に關する件二、土地貸付の件三、豫算追加の件を附議すべく評議員會召集の筈なり▲商議役員會　十八日を以て開催の筈なりし商議役員協議會は出席者不足にて流會となり二十日午後一時より再び改めて開催したり

仁川

▲仁川經濟會　仁川經濟會にては二十日午後六時より仁川ホテルに於て臨時總會を開き前會長森氏表彰の件は感謝狀に記念品を添へ贈呈することに仁川發展史編纂の件は總經費を千二百圓と見積り會員より四百圓を醵出し不足額は商業會議所及び府廳から補助を請ふ事に會長選擧は奥田、稻田、萩谷の三氏各三票なりしを以て決選投票を行ひ稻田氏當選す次に評議員は奥田、稻田、萩谷、阪倉、河添、淺井、田中、白神、和田、川井田の十氏當選更に互選にて幹事に萩谷、和田兩氏當選せり會費徵收の件は當分徵收せざることに決議し終つて晩餐會に移り午後十時三十分閉會せり▲農況視察員派遣　仁川商業會議所にては例年の通り去る十六日より伊藤、大童兩書記を地方農況視察の爲め京畿道、忠淸南北道、黃海道に派遣せり▲仁川府協議會　仁川府廳にては二十二日午後一時より防疫上に關し府樓上に於て協議員を召集し協議すべし

木浦

▲阿部社長來木　京城日報社長阿部充家氏を榮山浦迄出迎へたる高根木浦支局長及び長野木浦新報主筆と共に十七日終列車にて來木三吉野旅館に一泊し十八日午前中模範場を視察し玄基奉氏を訪問朝鮮古書畫を見て木浦有志の午餐會に臨み午後を棉花會社及び警備船にて港内を巡視し午後六時二十分發にて羅州に向け出發同地へ一泊野田副總裁と共に全州に向ふ因に野田副總裁來木の筈なりしも都合にて見合せとなれり▲度量衡檢查　當府に於ては十八日より府廳下體育會場に於て度量衡檢査を開始せるが檢査官は農商工部技手泰乙吉及び松本府書記にて二十三日迄施行すべし▲府協議會開催　當府にては二十二日頃府協議會を開き水道給水條例外二件を討議すべし▲記念式地鎭祭　棉作十周記念の爲め松島公園内に記念碑を建設すべきことは既報の如くなるが當會議所は十九日午前九時より右地鎭祭を執行すべく松井副會頭以下常務委員其の他關係官民多數參列の筈▲巨文島の虎疫　巨文島に虎疫發生せしこと既報せしが當警備船扇海丸は直に同島に急航したるが時既に遲く死體は火葬し汚物も全部燒却後にて死者の使用したる布片を採取歸港直に熊野淺海の檢疫醫の檢菌を爲したるも虎疫の徵候なく全く陰性と決定せり

光州

▲保護牛增殖　保護牛規則發布に伴ひ本道にても九月下旬より之が選定を爲すべく各郡駐在の農産教師をして各面を巡察せしむる筈にて從來の牡種牛一百頭ありて今回增殖するは全部にて五百二十二頭内牡牛三百五十牝牛百六十牡犢八十牝犢三十二にして種類に依り年額十圓より三圓迄の保護料を支給すべく豫算八千四百七十圓を計上せり▲土調委員會終了　十五日より道廳にて開會中なりし全南各郡の土地調査委員會は廿日を以て終了し委員其々歸任の筈なるが之が臨席の爲め入光中の伊藤土地調査局副事務官も廿一日歸京すべし▲軍隊歡迎協議　十月三日大隊演習の爲め一齊に入光すべき光州大隊の管下海南茂長全州の三中隊を歡迎すべく二十三日光州郡にて官民有志者の歡迎協議會開會すべし▲秋場檢事正巡視　光州法院秋場檢事正は十八日管内巡視の爲め出張せり▲大清潔法施行　十月一日より光州署にては管内の秋季大清潔を開始すべし

釜山

▲浦鹽貿易好況　浦鹽貿易は大に進展の狀を示し來り鎭南浦新井精米所にては研磨米八千石の賣買契約浦鹽方面と成立し内四千石は二十日釜山寄港の大阪商船天智丸に積込み同店員南藤馬便乘し商況視察の爲め浦鹽に向ひたるが同船は今回臨時に新井貿易店の爲め航運せる由なり尙ほ同店は引續き契約進行中なりと又仁川府山の商人間にも浦鹽貿易につき賣買契約を進行中目下浦鹽行の精米は主として軍用米なる由▲警務部長私察　慶尙南道警務部長前田昇氏は二十日午後五時十五分來釜大池旅館に投宿せるが今回は朝鮮玄關の釜山港に於ける虎列拉防疫狀態視察の爲め也と

大邱

▲大邱電動力增設工事　大邱電氣株式會社にては從來五十基の發電機にて府内の需用に應じつゝありしも需用者增加の爲め更に八十基の發電機を增設し已に据付工事も終了せし故本月中に試運轉をなし大發電機には大修繕を加へ業務擴張すべしと▲大邱救護舍新設　大邱府救護舍は從來借家なりしが今回南山洞に新設する事に決定九月二十二日午前十一時大邱府廳に於て是が入札を執行する筈▲大邱兵營道路落札　大邱府境界より兵營に至る京城釜山間一等道路延長一千間の道路工事は二十日慶北道廳に於て入札の結果大邱府加茂儀作氏に落札す

人事消息

▲市川第三十九旅團長　二十一日朝渡京
▲宮塚第七十九聯隊長　同上
▲服部醫務部長　二十日夜歸任
▲松永京畿道長官　同上
▲島居帝大講師　二十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲大竹太郎氏(九州帝大教授)　二十日夜入京山本旅館へ
▲中村安太郎氏(長崎中學校長)　二十日夜入京旭旅館へ
▲谷口與四郎氏(鑛業家)　二十一日朝入京天眞樓へ
▲水原農林學校生徒一行　三十七名二十一日朝龍山へ
▲ローゼンタール氏(和蘭公使館附武官)　入京中の處二十一日朝南大門發北京へ
▲アダムス氏▲ミユーリー夫人(以上英人漫遊者)▲テーロー氏夫妻(以上英國商人)▲オール夫人▲オール嬢▲ヒンド嬢(以上米人漫遊者)▲アンダーソン氏(米國商人)　入京中の處二十日朝退京
▲フレーザー氏(米人會社員)▲ドナード氏(英人會社員)　二十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲岩井長三郎氏(土木局技師)　二十一日開城に出張

全州より　大塊

秋氣雄大今尙李祖の蹟やあり
祠風山に川に秋野に吹き荒む

▢豆滿江畔より(二)　文哉生

國境に秋は高く候遊子の得意御察隱上候(九月十二日)

次桑原綾江長官審製　詩韻三首

鍾城
守旺樓外秋色新、斜陽怒浪們江濱、胸中畫策如雲起、馬上縱看齊女眞。

過黃坡鎭
透迤殘壁饒秋樹、一水落江鳴急湍、奇崩黃坡鎭外秀、又看境上白雲盤。

至新阿山途上
荒原雨歇路難艱、淡沫烟雲封古關、何是支那何是露、牛鳴相答對岸山。

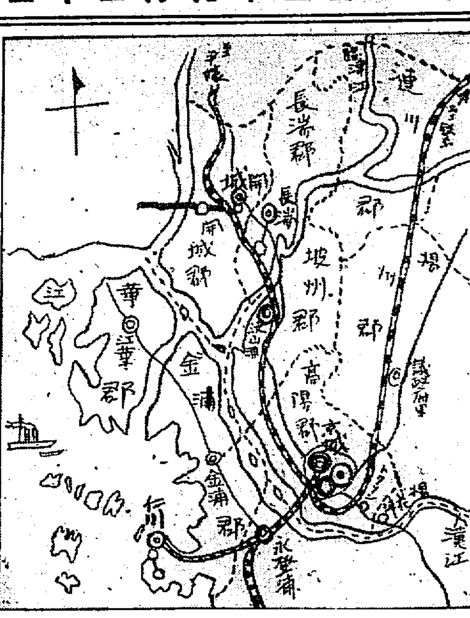
三浦より　活堂

坡柳子黄州に三泊ありし模樣近き處に居りながらと思ひても未見の人殘念に候句を作る氣になりて人の句を見れば惡くらしい樣にになされ居るを見受け申候引つられながら後團だに得稱り不得發語には吾れ自らあきれ申候(二十日)

潛水工事水押しに休む秋大雨
芦の花上は道を露踏み行けり
解熱一服汗しとの夜長かり
熱の舌苔をかく江戸菊日照り
著よごしの秋袷芭蕉破れたり

（夕刊） 大正五年九月二十二日（金曜日） 京城日報 （明治卅九年八月十日第三種郵便物認可） 第三千二百四十六號

京城附近防疫網の配置區域



◉京城を中心とする大防疫網

漢江臨津江沿岸の警戒嚴重

京畿道警務部の防疫厲行

仁川の虎列拉が火の手を延ばして富川郡や江華島迄侵略するに至つたので京城の危險は目睫の間に迫つてゐる此際如何様のことありとも京城に虎疫の侵入を防遏する必要ある爲め京畿道警務部では一大計畫を立て二十日から漢江及び臨津江の兩大河を中心として其沿岸即ち開城長湍坡州高陽の四郡に亙り北は臨津江沿岸の高浪浦を境界とし南は漢江沿岸の楊花津を限りたる一帶の沿岸及び楊花津から金浦始興の兩郡界、富川始興の兩郡界と之を切斷したる京仁街道を境とし此西側なる江華、金浦、富川の三郡との交通に對し船舶碇泊所は勿論陸上道路も各要所〳〵に看視所を設け各管轄區域の憲兵警官を特派して通行者について悉く檢問を勵行し蟻一匹も通さぬ程の嚴戒をしてゐる尚京城附近なる麻浦、龍山、纛島、楊花津の各地にては船舶の發著毎に船客、水夫等の上陸者に對し殊に嚴重なる檢問をしてゐる

◉豫防液を毎日三千人分宛

朝鮮銀行李王職其他地方より注文

既報の如く總督府醫院にては二十一日午前中に三千人分の虎疫豫防注射液の製造を終り以後毎日三千人分宛の豫防液を製出する事となり同醫院に於ても二十一日より希望者に對し注射の需めに應ずる由なるが此の外二十一日中に仁川及び釜山に各千餘人分の液を發送するとの事なるが猶朝鮮銀行、李王職等よりも豫防液の注文ありとの事なるが猶此の外京城仁川、釜山等の開業醫よりも多大の注文ある見込にて製造所にては二十一日以後晝夜兼行にて製造に從事する筈なりと

◉仁川の虎疫遂に 内地人市街を襲ふ

府内累計五十五名＝内死亡四十名

仁川署にては虎疫益々猛威を逞ふするより防疫の爲め警官醫師百五十餘名の應援を受け松元署長を始め各係員は晝夜寢食を忘れて防疫に努めつゝあるもまだ防止の見込付かず益々新患者を續發しつゝありて二十日午後九時に至り仁川府萬石町內地人町に及び同町九番地の辰吉妹徳永藤枝（二八）が發病し二十一日午後零時眞正と確定したり而して二十一日午前四時迄の患者累計數は五十五名にして内四十餘名は死亡し目下十五名を避病院に收容中なり内富川郡富內面發生の患者眞正一名疑一名を含めり十七日以降の患者中二十日及び二十一日午前零時迄に眞正と決定せるもの二十一名なり猶二十一日正午迄に新患者五六名を出せり

◉釜山終熄か

虎疫豫防衛生講話會を七個所に開催す

內地に虎疫流行以來朝鮮の關門たる釜山は率先して海港檢疫を奬勵したる結果今日迄に三名の患者を發生したるも何れも其▲系統明らかなるのみならず其後發生を見ざるは實に釜山として喜ぶべき事にして防疫上の効果顯著なるは云ふ迄も無けれど釜山府に於ては之れを海港檢疫のみに托して甘んずるを得ず二十日若松府尹は橋本署長、西村府立病院長と協議の上府衛生課事務の敏捷を期するため同衛生課を府立傳染病院內に移轉し係員四名は日毎に病院に出張し事務を取扱ふ事とせり、又二十一日より衛生講話會を大黑座、釜山座、東本願寺、智恩院寺、草梁座、釜山鎭倶樂部、牧の島蛭子座の▲七箇所に於て開催する事とし毎夜西村府立病院長、鈴木傳染病院主任、宇都宮院長、久保醫師會長、佐藤事務官、橋本署長其他係官等出席順次講話をなす筈なるが中にも召集困難を感ずる漁夫に對しては廿一日より三日間に渉り水產組合と協力して漁船廻をなし命令すべしと

◉小雛丸乗組員歸る

地中海にて敵國潜航艇に擊沈されたる小雛丸乘組員三十九名は二十日神戶に歸著せり捕虜となりし船長若澤氏の嚴父は涙ながら當時の模樣を聞きたり（大阪特電）

◉仁川の問屋、精米所が困る

仁川府內に徘徊し居る擔軍或は精米所に多く雇はれ居る米選女は多く今回交通を遮斷されたる三個里及び龍里方面より毎日早朝出かけ來る者共なるが既報の如く同所は既に交通遮斷され居る事なれば米選り女の如きは十九日朝より得意先に出で來らず擔軍の如きも亦出で來らざるにぞ彼等の多數を雇使しつゝある某精米所の如きかくとは知ず何時になく彼等が出勤の遲きを憂ひ使の者を出し取調べさせて後初めて其事情判明し僅かに其不足の頭數凡そ五十名を他より補充し漸く其日を送りたりと云ふが此雇人等も歸宅せば中々再び出で來らざる可く擔軍の如きも亦如上の始末にて問屋精米所などは閉口し居れり（仁川）

◉虎疫豫防注射料三回六十錢

注射液は十人分一瓶六十錢

虎疫豫防注射料は總督府醫院にて注射を受くる者は一回二十錢宛、三回全免疫注射六十錢なり又地方開業醫及び學校軍隊各官公衙等より總督府醫院豫防注射液製造所に直接購入を申込む者に對しては十人分一瓶六十錢にて販賣するとの事なり

◉停車場と船で顔色を見る

朝鮮各地に虎疫流行の兆あるを以て十九日より朝鮮鐵道各主要驛及び各港灣船舶に檢疫を開始したることは既報の通りなるが是等檢疫驛にては檢疫醫を配置し警察官憲立會の上乘客全部の顔色を診し尙疑はしき者に對して接診をなし居れり船舶乘組員に對しても同樣勵行しつゝあり

◉慶北に檢疫所設置

朝鮮各地に虎疫流行の爲め警務總監部には各道に檢疫所を設置する事となり慶北にても警務部に本部を設け大邱、淸道、盈德、蔚島の各警察署及び金泉、浦項の憲兵分隊に各檢疫所支部を設け十九日より事務を取扱ひつゝあると同時に盈德郡丑山、江口迎日郡九龍浦、浦項、鬱島の道洞に檢疫所を設け仁川、釜山地方よりの船舶に對し檢疫を勵行しつゝあり（大邱）

◉普通學校閉鎖

虎疫豫防に關する學校側の處置に就ては既報の弓削學務課長の談にも見ゆる如くなるが更に京畿道にても防疫に關しては臨機の方法を取ることゝなり既に仁川及び富平の公立普通學校に對しては閉鎖を命じたるが更に內地人側に患者續發し來りたる場合は高等女學校、商業專修學校、公立小學校等をも閉鎖を命ずることゝなり居れり京城も亦萬一の場合は臨機の施設を行ふ可く近々道令を以て各學校へ示達すべし

◉仁川高等女學校の休校

仁川公立高等女學校所在山根町附近及び仁川公立普通學校所在松林里は遂に虎疫の蔓延區域となりたるを以て二十一日より臨時休校せり

◉魚は菌を呑んでも平氣だ

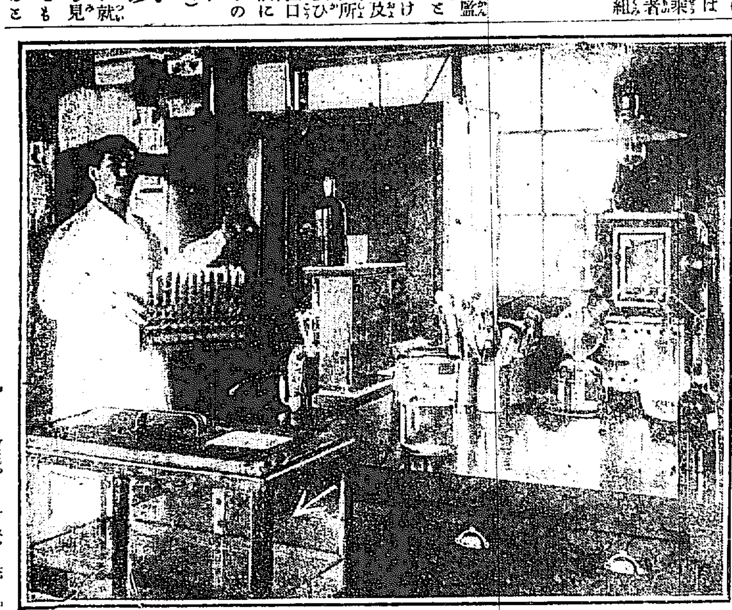
總督府醫院で試驗中の鮒、鯰、鱸

虎列拉が流行して來てから魚類は恐ろしがられて來た從來は少々位怪しく成つて臭いやつをさへ平氣で喰べて居つた我無著羅漢でも流石に

▲虎列刺だけは怖いと見ゑて此の頃では新らしい物でも吟味に吟味を重ねて食べるやうに成つたのは結構な事である、なぜ魚がこんなに虎疫の神樣のやうに怖られて居るかと云ふと魚は虎疫菌を何程呑んでも平氣で居るからである總督府醫院では虎疫菌を澤山に呑んだ魚類を飼養して居る試驗魚類は鮒、鯰、鱸等で方形の

▲硝子函の中に飼うて居るが最初函の中へ澤山の虎疫菌を混じて此の中に數時間魚類を飼ひたる後取出し函中の水を用してスッカリ消毒して清冽な水を容れ虎疫菌を呑んだ魚類を其の中へ放つのである、そうして置くと魚類は一度腹の中へ呑込んだ虎列拉菌を排泄して忽ちの內に綺麗な水に又忽ち虎列拉菌が

▲一杯に繁殖して終ふので成程一度虎列拉菌が游の中に這入つたとすると怖るべきものであると云ふ事が判る殊に海水では虎疫菌は少しも死滅しないのである最も總督府醫院の魚族試驗は未だ其の結果を知るまでに達しては居らぬ



虎列拉菌を呑んだ魚（×印の玻璃器中）

◉櫻井町に注意患者發生

市民諸君は此際一層の警戒せよ

京城櫻井町一丁目六十番地筑紫醫院方雇女小室まさ（三）は二十一日午前三時より激烈なる吐瀉下痢を爲したるより二十一日朝筑紫醫師は同町なる池上醫師を迎へ立合ひ檢診の結果疑はしき症狀を發見せるより取敢へず患者の糞便に就き檢査せるに逕しき箇所あるところから直ちに本町署に屆け出でたるより同署佐藤衞生主任警部外署員數名同家に急行し消毒を行なふと同時に疑似虎列拉患者の取扱をなし附近の交通を遮斷したり尙糞便は總監部衞生課にて檢鏡中

◉南鮮と虎疫

▲漁夫三名死亡 慶尙南道蔚山郡方魚津に碇泊中の漁夫板坂繁松及び方魚津陸上の北沖由吉太郎同長雄の三名は孰れも二十日發病二十一日午前死亡したるが檢鏡の結果眞性と決定したるが當地は初發以來之れを以て五名となれり（釜山特電）

▲順天に發生 全羅南道順天郡邑內居住の都留善太郎（五十）は二十日發病二十一日午前九時死亡したるが檢鏡の結果疑似虎列刺と決定せり（麗水特電）

▲漁船の疑似 全羅南道麗水郡麗水港碇泊の內地人漁夫水上德松は二十日發病二十一日午前九時疑似虎列拉と決定せり（麗水特電）

▲百七十八名停留 二十一日朝釜山入港の櫻丸船客二百六十九名の內百七十八名停留す（釜山特電）

讀者文藝（一等に五十錢の書籍券を呈す）

▲川柳『芝居』

○芝居好き泣される程嬉しがり（第一） 永同 鳥渡作太

▲村芝居手を氣にしてる女形 龍山 岡本小草子

▲新派の役者舞臺を掻廻し 京城 新人

▲芝居ではないかと流石茶父なり 京城 城田山繁

▲新派劇泣かぬも見得の一つなり 京城 磯之舍

市民衛生會議

▲仁川の虎疫も最初の患者が發生して居なかつたならば此の様な事はなかつたのだらう一概に隱すとは云はれぬが病狀を知らぬ朝鮮人等は大したものとも思はず何か其れきりに仕て置くからである其れで隱すなどの出來ない様に調査をやるが好い京城などへ這入られぬと云つて安心は出來ぬ速に今の中に實行して貰ひたい（病道生）▲旭町や米倉町などを通ると擔軍が其處此處に立つたり寢たりして居るが此際彼の様な危險なものは一定の場所を指定して置くが好い鹽紅熱などは能く擔軍が日本人の所に持つて來る實例もあるから（前の防疫委員）▲京城には以前衞生組合なるものが各所にあつたが今はありませぬか何でも組織して置かればならぬ事にはなつて居ませぬか（龍山組長）▲京城では神祭其他祝日などには能く町總代とかいふものが企など集めに來ますが役の人々は衞生などの事では關係はありませぬか（總代）▲共筋では大英斷を以て虎疫注射を施行式にやつては何うですか併し強制せずに任意的にですよ例へば何日は何處と云様にすれば好い（免疫者）

北京いろいろ

四、浴德殿

武英本殿を出ると西側に武英殿と云ふのがある周漢の古銅器類が蒼然たる古色を帶びて陳列されてゐる。銅器が東洋美術の粹たる事今更聞かされる迄もないが、此陳列品の素晴らしさには文句を挾む餘地が無い。默つて通りぬける事にすると武英殿の後方に浴德殿と云ふ小堂宇がある。數階段と數歩の舖石の左右には栢檜、鷄頭、夾竹桃其他支那趣味の鉢が並べ入口の右側には、本殿は今迄公開されてなかつたが特に一週土、日の二日丈け公開するとして假に『民國五年』と書いてある。民國なればこそ民國が殊に眼に映ろ——傳へ言ふ。乾隆帝と云へば清朝一代の明君、內文化と共に異彩を略し赫々たる威勢を

□清朝の聲名

四威に響き渡つたが、或る時西域征伐を征服に際し王と共に虜とせる群衆々多なりし裡に王の一女にして如何たる美女あり。帝は直に入れて後宮一房の主と爲し父母には固く己、王師を興へ優遇到らざる處なかつた然るに蜜の如き帝の寵愛が擴まゝにしても妃は父母の傍を忘れ兼ね思慕の情遣り難き帝は左に工を起して一宇の樓を築き望家樓と名付けた。此樓今も尙殘されて大總統府新華門と成り共とは似もやらぬ姿に用ひられてゐる

□之に浴德殿

帝は更に妃の爲めに一浴殿を建て之に浴德殿と命名した——と傳へられた乾隆史の數行を偲ぶべき浴德殿なのである。入口は南に向いた一個所であれば妃の妖姿蓮々として出水した處も此處であらう。捨てた綾羅を架けた衣桁は此のあたりに据ゑられてあつたかも知れない。と思はれる一室を左にして稍々奥深く進めば約三四尺の廊を爲す石疊みの左右も天井も悉く麗やかな白煉瓦で築き上げられた間を三五間、右に折れ左に曲りして行けば

□廣さ四坪餘

りの一室に入る。床より高さ三四尺は方形に疊み夫れより上は圓形に築き漸次上方に絞り上げて瀟洒な佳たる室に空氣ぬきとしてある。總て之れ白色の耐火煉瓦を用ひ水道の栓も取り付けられてある。今日の文明を以てすれば是れ丈けの設備もさして珍らしからず高價でないであらうが乾隆帝の當時純土耳古風の此一沐浴の築かれた事は流石に深窓の嬌帝の稱すべきであらう。深宮と云へば直ちに桀の姑息の長城、阿房宮を思ひ出す支那の暴帝の大運河を想ぶか、何を言ふにも王者の仕事である。是れ亦わざとらしからんと欲して爲し得ざる事業を嫌ふ者の一端であらう——『暑い〳〵。到底も堪らない。もう出ましやう』Oさんは仲々上手な案內振りに先へ〳〵と導いて行く。（磊々生）

◉連絡船上陸客 十九日午前入港さくら丸二等客

一等（五名）荒川喜代次、黒田忠太郎、横田重雄、山前勝司、近藤照治

郎、木村たか、高木吉衛、柳崎ふさよ、高木たつ、檜山木助、土肥新二郎、西尾寛…、松下定二郎、玉木米二郎、米野誠一、…

一等（九名）…、兩宮與寄、大庭敏太郎、鳥居龍藏、…則吉、吉川推輔、井原眞造、吉田安…郎、…

◉廿二日…八名 內吉松、真藤弘、幹田信、小林守、太田治右衛門、安居院新平、那波德治、前園千代（三等）首七十

▲示度七百五十二粍 ▲進行方向南東 ▲記事 南風強し ▲警戒區域 平安道の沿岸及び內地

讀者文藝課題及募集規程

▲圖募集規程 ▲用紙は端書又は又型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の氏名明記の事▲

天氣 曇り但小雨 ▲九月廿三日

古今未曾有の大寫眞 黃金館に來る

賜天覽 畏於伏見宮御殿（大正五年四月十六日）
賜台覽 畏於高輪御殿（大正五年五月一日）

帝國駐劄佛國大使ルニヨー閣下證明書下附

佛國政府撮影

歐洲戰爭戰線內

實寫活動寫眞

西曆一千九百十四年より同一千九百十五年に亘る

全五卷
第一 アルサースに於ける佛國大統領閣下
第二 戰線
第三 佛國第五軍團の活動
第四 塹壕戰
第五 潜航艇の戰鬪

古今未曾有の大戰歐洲戰爭の狀況を永遠に記念すべく企畫せし佛國政府は莫大の資と幾多の冒險の下に犧牲を賭して他に見るべからざる戰線內の實況を詳細に撮影せるものにして大正五年二月佛國政府より帝國駐劄佛國大使館に送り來りたるものを東京キネマ商會主に普く映寫方を一任さる此光榮あるフヰルムを吾が早川演藝部主は朝鮮滿洲映寫披露會幹事として擇任され之れが第一次映寫を九月二十一日より黃金館に上場映寫披露をなす

朝鮮駐在佛國領事ゲラン氏は九月二十一日午後九時より朝鮮ホテルに於て各國領事團並に朝鮮貴顯諸氏を招待し之が大覽に供す

◉實に生ける國民教育の大資料

（華族會館、帝國劇場、有樂座に於て有ゆる有爵諸公の台覽、陸海軍其他各省大官並に朝鮮諸賢の大覽陸軍及各種大、中、小學校學生等全部團體觀覽せられたり）

本興行に限り 入場料 一等 五十錢 二等 三十錢 三等 十五錢 軍人學生 各等半額

▲終編近づきて益々佳境に入れる ◉大冒險大活劇 第十名金 第十九編第二十編

▲他館で見れぬ丈も好評ある ◉新派連鎖劇 新椿姫 全三卷

天然色活動寫眞會 Mカレー商會 滿鮮一手代理店

朝鮮滿洲映寫披露會幹事 早川演藝部

朝鮮人の離婚問題
△お喋り女は去る

◇京城府廳民籍係の調査によれば今年の八月中の取扱件數は總計六千三百十件に上りこれを昨年の八月に較べると九百六十一件ほど增加して來た◇其の內鮮人の出生は五百二十八人死亡が三百九十九人、婚姻が百一人となる猶ほ離婚の數は二十二件昨今でも一日に一二件づゝは申し出て來る◇舊韓國政府時代には鮮人の離婚は絕對に許されなかつた、偶々離婚が行はれるとすればそれは妻が七去罪の一つにあたらねばならぬと定められた◇七去罪は第一子供の無いとき、舅姑に不孝なとき、お喋り、嫉き過ぎ、品行、惡病、盜竊を働らいた時をいふのである、併し妻が三年間父母の喪に服した時、歸るに宿なき時、貧乏な時に嫁して富有になつた時の三つは離婚を防ぐことが能きたのであつた◇然るに昨今の離婚は女の方から亭主に愛想をつかす方が多くなつて相談の上別れる者が多くなつた併しこれは下層社會のことで上流はまだ離婚を非常な恥辱としてゐる

◉櫻楓會例會　女子大學卒業生の京城櫻楓會支部は十八日午後一時より大和町木本氏宅にて九月の例會を開催、深尾、安武、永島、三井、木本、成田、宮﨑、各夫人の出席あり席上家庭及び育兒法のお話に次いで種々雜談を交へ夕方散會せり、次回は英文科出身の三井技師夫人の講話ある筈

◉女學校へ寄附　釜山本町四丁目松尾藤太郎氏は妻とく子の遺言に依り二十日高等女學校へ金二十圓を寄附せり

あちらこちらとぞも(四)
坂出技師の洋行土産話

◇ヘルメット帽の巡査　あちらの巡査は、フランスもイギリスもみな親切です◇鳥渡ある友人を訪ねるにし巡査に訊けば、其の番地から町名からを、親切に調べてくれます◇其の上內の者には、十町も十五町も自分から探してくれて、猶ほ丁寧な言葉で敎へるのみでなく、不案內の呼鈴までならして、確かめてくれます◇猶ほまた、一般の人も、警官の注意をよく守るのは感心です◇たとへば、紐育や倫敦の賑かな通りは、中央の車道を、織るが如き車が旋風し、マゴ〳〵して橫斷せんとすれば、轢き殺される恐れがあります◇こんな時、ナイヤガラ瀑布を橫斷るやうな冒險をしなくとも、街頭の警官に賴めば、立所に車行を停めて吳れるのであります◇また紐育の大通りの十字街にては、急流の如く走る自動車を、警官の指一本で、停めたり驅らしたり致しております◇背の高いヘルメット帽の警官が、一度手をあげると、東西に馳る自動車が停つて南北の車が馳り、指が停れば縱が走るといふ有樣で◇往來の人も、車も、何千人何百人が、極めて柔順に警官の命令を守つて居ります◇これは一人の我儘者があれば全體の人が迷惑するから、めい〳〵が嚴格に規則を守るのであります◇中には王公、貴族もありませうが、さすがに文明國だけに皆溫和しく守るのであります◇現に、私の友人も、ステーションに汽車を急いで疾驅する際、今二三分間で乘り遲れるといふ瀨戶際に、矢張りこの往來止めで、動けなかつたと申します◇つまり各自に於て、能く守るから、拔がけの動作を許さないのであります。(女子高等普通學校にて)

御相談
□簡單な御談を　私は南大門驛の案內係でございますが、御客樣方より御問合せの電話は、なるべく用件だけの簡單な直入主義が願ひたう存じます、私共でも「濟ない」とか「ありがたう」「さよなら」と承つて惡い氣持も致しませぬがそれよりも他のお客樣のお急ぎを思へば、用件だけの御問合せが願ひたう存じます、それから「釜山の急行は何時か」といふやうな漠然たるお訊ねはなるべく『釜山行き』とか『釜山から』とか明瞭に御示しいたゞきたいものです。

神社とお寺と敎會
○曹洞宗別院(若草町)　二十一日午後八時より彼岸の法會あり二十二日は同じく午後八時より法會あり
○神理敎會(南山町三)　二十二日午後八時より祭典執行式後講話あり
○西本願寺(若草町)　二十一日午後八時より彼岸會あり松原總長、弘中布敎員の說敎あり

△會のいろ〳〵▽
同は二十二日は午前八時より木村開敎使、午後一時より松原總長、山本布敎員の說敎あり
□仁川園藝大會　仁川宮町二丁目園藝研究所にて第三回の園藝大會快晴なれば二十三、四兩日開催會費金一圓にして飛び入り勝手たるべし賞品澤山あり

番茶のあこ
支那總領事館の陳さん曰く『お國の方はコレラで隨分お困りのやうですが、お蔭樣で弊國人は一人もコレラに罹りません△これは今回のみでなく去る四十五年の大流行當時にも全く我不關焉でした△よく考へて見ますと支那人、生のものたべるない、ビールお燗して飲みます、大變よろしい』とのお自慢、なるほどこれには一言もない△海軍の飛行將校和田操中尉が墜落したといふので和田ドクトルのお宅には見舞が頻々として來る△するとドクトルはニコ〳〵しながら私とこのは海軍大尉で飛行敎官をして居りますから人違ひです、これはワダ〳〵ありがたう。

お休日記

△ねぎよ、かぼちやよ　鐘路小學校尋三　市川　進

○八月六日(水)はれ　僕はお腹がいたかつたので、床の中へはいつてねてゐた。すると、おもての方から、へんな聲で『おくさん、やさいいりおぶそ』と支那人のやさいよぼが、いつた。するとお母さんが、なにがあるかさ、たづねた。支那人は、へんな聲で、ねぎよ、かぼちやよ、さつまいもよ、といつたので、僕のお母さんは、かぼちやを買つてくれた。

△冷水浴をした　鐘路小學校尋五　坂本三次

○九月十八日　今朝は六時十分に目をさまして起きたが、きまりの時間より十分おくれたので殘念でたまらなかつた。お母さんは『十分や十五分おくれたつて、そう腹を立てるに及ばない』と色々なぐさめて下さつたが僕も強かつたと氣がついた。そこで元氣よく裏庭に出て、いつもの通り、おけに水を入れて冷水浴をした。七時から三十分ほど勉强して、八時に中村君と一所に學校に出かけた。今日の天候は、よほど暖かであつたが、晩かた少し雨が降つた。(一日一善)どうこの善がとれてあつたから、その善をした。

△火事々々、々々！　鐘路小學校尋四　內川つぎゑ

○七月二十一日(金)雨　朝早く起て見ると、雨はしと〳〵ふつてゐました。私はこの二三日つゞく雨を見て、あしたの天氣を氣づかつて居りますと、今まで空をおほふた雲はどこへかいつて、かへつて、いい天氣になりました。よろこんで勉强をすまし、遊んでゐると、むかふの空がまつくろくなりました。私は思はず內にかけつけて『火事々々』と大聲で呼びました。お母さんもお父さんも、出ていらして見てゐらつしやいましたが、やがてお父さまは、じてんしやで火事場に出ていかれました。うれしい事には火事は大火にならないですみ、かけつけた人々もまもなく歸つてきました。

△お池や山をつくる　鐘路小學校尋四　小杉　□

○七月二十四日(月)晴　今朝は少しねぼうして、やつと六時半におきた。復習をすまして裏の山に登つてあそんだ。いいきもちでした。おひる少し前にうちへかへつた。おひるからは池をつくつたり山をこしらへたりして遊んで居ると、早川君が汗になつて遊びに來た。暫く凉んですもふをとつたり、かや草を取つたりした。本も讀んだ。夜は父さんや弟と共に前の通りを散歩した。歸つてからはつかれたのですぐねた。

△朝顏を見て　鐘路小學校尋六　松尾美世子

○八月十二日(土)晴　朝起きて見ると朝顏が十七咲いてゐました。つめたい井戶の水を汲んで、顏を洗ひました。御飯前に學校の運動場に遊びに行つて來ました。御飯がすんでハンモツクをつり、妹と二人で乘つて、唱歌を歌ひました。近所の朝鮮人の子供が乘りたさうに指をくわへて見てゐました。午後龍山の海水浴場に行きました。行つて見ると肥つた人、やせた人、黒い人、白い人など色々な人が泳いでゐました。四時頃歸ると叔母さんがお菓子をこしらへて待つてゐらつしやいました。

△紅いカンナよ　鐘路小學校高一　岩田よしの

○八月十三日(日)雨　しと〳〵と、今日も雨は降りつゞいてゐます。お母さんは張り物が出來ないで、お困りでせうけれど、私は雨の降る日が大好きです。お庭に水たまりが出來て、池の樣です。眞紅なカンナが露をうけて、しづくのたれるのが、面白うございます。お隣りの美代子さんが、高い〳〵お父さんの下駄をはいて、美しい著物に泥をはねかへしながら、裏口から入つて來ました。『笹舟を流してちやうだい』と言ひながら、小さい木に紙をはつた奇妙なお舟を持ち出しました。私は水溜りに、その愛らしい舟を流してやりました。この小さい美代子さんのお舟は、いつたいどこへ、流れ著くでせう。カンナは紅くほゝ笑んで居ました。

商況

東京公債直取引(前日との比較)
	十九日
五分利特別	九七、八〇
一回四分	八二、八〇
二回四分	八一、八〇
甲號五分	九七、七〇

深川在米特電
二十日現在高	
朝鮮米	二七、〇九八
臺灣米	七二、五九六
內地米	一五五八、九〇七

東京期米特電
二十日前場	十一月限
寄付	一四、〇五
高値	一四、一六
安値	一三、九七
止め	一四、〇〇

後場 [illegible]

大阪株式特電
類	二十日前場	二十一日前場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
神戶電氣	[illegible]	[illegible]
和泉紡	[illegible]	[illegible]
合同紡	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東洋紡	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪新	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
二十一日前場		
八月限	一五、三八〇	一五、三九〇
九月限	一五、三四〇	一五、三七〇
十月限	一五、三八〇	一五、三四〇
十一月限	一五、三〇〇	一五、三一〇
十二月限	一五、三〇〇	一五、三一〇
一月限	一五、三四〇	一五、三二〇

下關期米特電
二十一日前場	
當限寄付	一三、六二
中限寄付	一三、九〇
先限寄付	一四、〇四

め止

雜報
二十一日前場　晴天候氣構へ

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◉綿糸行當乎　綿米現物は二十日更に一圓高の入電を齎らしたるが原因は米棉の作柄愈々不良なりとて同日は三品市場は前場の好勢に似ず後場引は當限を除く外何れも三圓臺に落込み今前場は昨報米著にて不明なれど要するに米棉標準とせる市場なれば眼先は矢張之が成行如何によりて時々波瀾を生ずべし

◉種油は反動安　久しく天井知らずの觀を呈し十三圓臺を突破せんとする好勢なりしも月末多少の利喰的賣物現出したるを動機として漸く反動的軟勢を呼び來り此程再び二十錢方の崩落を告げ或は十一圓臺を割るに至らずやとの有樣を見るに至れり製油家は原料菜種の現況に鑑み愈々强硬の態度を改めず

◉細布値上げ十錢方の引上　市の値上げと同じく前報粗布の値定ありしが愈々二十日より之を實行し唱値八圓となれり因に同日の大阪綿布相場は二錢五厘高を報ぜり

◉浪板引締る　浪板は二十日大阪より五錢高の入電あり同地在荷は極めて少なく昨今賣行きも可成りの事とて眼先向强含みの模樣なれば當地も同日直ちに二錢方騰貴し一尺六圓八十三錢七尺一圓九十八錢八尺二圓十三錢を唱ふるに至れり

◉板硝子平靜　板硝子は最近內地五十錢高の報を齎らせしも之れが値上げの實相は實に需要時期を迎へての景氣附けに過ぎずして取引は矢張り平靜なり

◉白耳義物の輸入　[illegible]

◉鹽鱒は好氣配　四圓三五十錢處　[illegible]

◉昆布更に入荷　[illegible]

◉生果類無見當　[illegible]

下關相場
[illegible]

各地商況
○木浦(二十日の穀物)　[illegible]
△朝鮮一等白米(當用)十五圓二十錢
△同　十五圓三十錢
△同工等白米(當用)十四圓九十錢

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

釜山市場
[illegible]

市場零聞
▲遂に沸騰す　[illegible]
▲大に買物現はる
▲更に大暴騰を報じ
▲前場の手振
▲能く賣る
▲能く買ふ

仁川期米
▲二十一日前場　大阪天候晴天
前寄十四圓〇四錢　昨止より七錢高
二節十四圓丁度
二錢六節〇六錢
高移り大阪五節〇
更に三十二錢と大騰

仲買店
仁川米豆取引所仲買人　支配人　十居勝　電話二八三番

▲軟軍應戰す　▲硬軍活躍す　▲人氣沸騰す　大阪の大暴騰に向ひ應戰能く其功を奏す　仁川觀測所の警報出で大阪遂に大暴騰

仁川米豆取引所
廿一日の十一月限

寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]

小賣白米
[illegible]

三巳仲買店　仁川米豆取引所指定仲買人

確實迅速　仁川米豆取引所仲買人

京城商業會議所
來る十月上旬より凡そ一ケ月間の豫定にて東京に於ける朝鮮物產紹介の爲め當會議所より視察員派遣致候に付同地方御視察の御志ある各位は何時にても同行可申候尙各位の御便宜を圖り商品の取引に關しても出來得る限り御相談に應じ可申候見本品等御携帶の方は二十七日迄に御申出相成度候

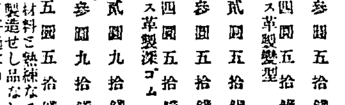
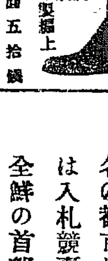
大正五年九月二十一日

京城地方法院
商業登記公告

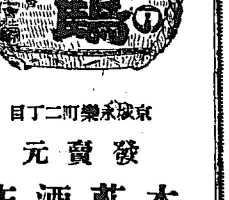
株式會社百三十銀行ハ大正五年九月拾日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ了シ各新株ノ拂込金額ヲ參拾七圓五拾錢ト變更シ次テ同日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ了シ各新株ノ拂込金額ヲ五拾圓ト變更シタリ

右大正五年九月拾六日登記

[illegible]

信用ある東京三金の特賣


ボックス製　長靴　長サ一尺三寸　金四圓八拾錢　一尺五寸　金五圓五拾錢
第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製變型
第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム
第一號　金貳圓九拾錢
第二號　金參圓九拾錢
第三號　金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般紳士靴として好適なり
▽御註文の節は鞋型と足袋の文數を御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す
最新目錄進呈
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇　振替東京一七一三番

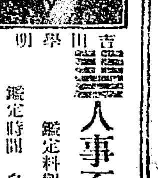
最上醬油 鶴
京城府龍山元町　關西商會讓造所　電話三十九番　振替口座京城七三九番

優等清酒

京城永樂町二丁目　發賣元　本莊酒店　電話六五四　振替京城六二〇番

襲名廣告
拙者儀今般家例ニ依リ先代ヲ襲名候ニ付此段謹告仕候也

大正五年九月

大阪市西區西長堀北通五丁目拾四番地　義太郎改　右近權左衛門

京城本町三丁目

吉川學明
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間　自午前九時　至午後十時
大日本陰陽學會朝鮮支部

木材市賣廣告
各位益々御情榮奉賀候陳者弊店儀每時厚き御贔負を蒙り難有御禮申上候偖內地著名の都市には夫々木材の市場ありて糶或は入札競賣の慣例有之候に就而當京城も全鮮の首都として木材の需要も益々增加致候に付可成安價に且御便宜に供給致度趣旨を以て今回試賣的に內地市場の例に倣ひ木材市賣を開始し勉めて成行相場を以て安價に放賣可致候間御同業の各位は申すに及ばず一般御需要者は內鮮人を問はず當日賑々敷御來場の上多分の御買上を願上度此段御案內申上候

一 出場品目　鴨綠江材各種、內地杉材、北海道雜木類、背板鼻切類、板、柱、貫、小割、木摺、挽落、原木各多數
一 下見　廿一日中に出品排置濟に付市賣當日迄に御覽被下たし
一 市賣日時　本月廿三日午前十時より開始(雨天順延)(終末ながら晝飯の準備有之候)
一 賣方　糶賣(御希望が多くば入札に變へるやも知れず)
一 場所　京城岡崎町弊店構內

以上

大正五年九月

登錄商標

京城岡崎町　材木商　大二商會

◉廿日午前入港高麗丸二等客　[illegible]
◉暴風警戒(午前九時發)　强かる可し▲低氣壓位置滿洲北部
記に拠る)

宮本武藏

第百六十六回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

所が此翌月江戸表に於て一つの騷動があつた之は外でもない前申上げた高坂甚内といふ反逆人が召捕られ、一味の面々三十何人といふもの一度に繩に懸りました、此高坂甚内といふ人は元甲州の智者と言はれた高坂彈正昌宜の末子で生れて間もなく主家が亡び、播州茶川といふ所に居る高坂武部といふ伯父さんの手に養はれて成長した、幼年より文武の道を勵み、十五六歳の頃には天晴の武藝者となつたが大望があるために反逆の志を抱くに至つた、此高坂甚内の傳記は、別に講釋があつて永くなるから大略いたしますが勤王の志も深かつた、反逆とは言條實際は其頃朝廷の式微申すも畏こく僅か二萬石の御料に過ぎず、中御門内大臣通村卿が勅使として關東へ下向したるを幕府止めて歸さず、川越の南光坊へ押籠めて置いた事がある、此人の詠歌に

『行方に身をば誘はで夜々の
　袖の露とふ武藏野の原』

こういふ有樣であるから心ある浪士は皆皇運挽回の計を廻らして居りました、由井正雪でも山鹿素行でも反逆とはいへ勤王の志から出たのは少し史を見る人の知る所、高坂甚内を只大盜賊だと思つて了ふのは氣の毒であります、甚内といふ人は學問もあり仲々エライ人物だつたが味方に返忠の者が出來て訴へた爲甚内も終に陰謀露顯して召捕られ所刑になりました、此甚内を召捕つた人は有名の条の平内長守といふ役人だ、此人は今淺草の仁王門の傍に祀られて縁結びの神樣になつて居ります、平内のやうな豪傑が縁結びの神様になつたのは可笑しな譯だが、之れは此人が罪障懺悔のために石像を刻んで、『ふみつけべし』と書いて觀音樣の境内へ置いたのを參詣の人が間違へて文付べしと讀んだといふ事だが之れはありさうな間違ひで、条の平内大層粋な神樣になつた今でも藝者などが日參して居る、之れぢやア平内さん愈々浮ばれないだらうと思はれる此功に依つて条平内大目付役に出世した、維新前まで子孫があつたさうで、丁度天草の一揆が起つて居る最中だから市中の騒ぎは大變であつた、さて一橋如見齋は長東傳八郎を呼んで

如『さて長束、愈々貴公も出陣する事になつた、九州へ下つて一働きすれば八百石や九百石には取立てられる、黒田家へ仕官して了へば安心だ、假令岡崎の小倅や、お雪などが仇呼はりをしても親船へ乘つて陸で狆狗が吼へて居るも同然、少しも、氣支ひなところはない、其中拙者が小倅を旨く片付けて了よから安心して往なさい

傳『千萬忝じけない、併し左門お雪は宜いとして心に懸るは宮本武藏

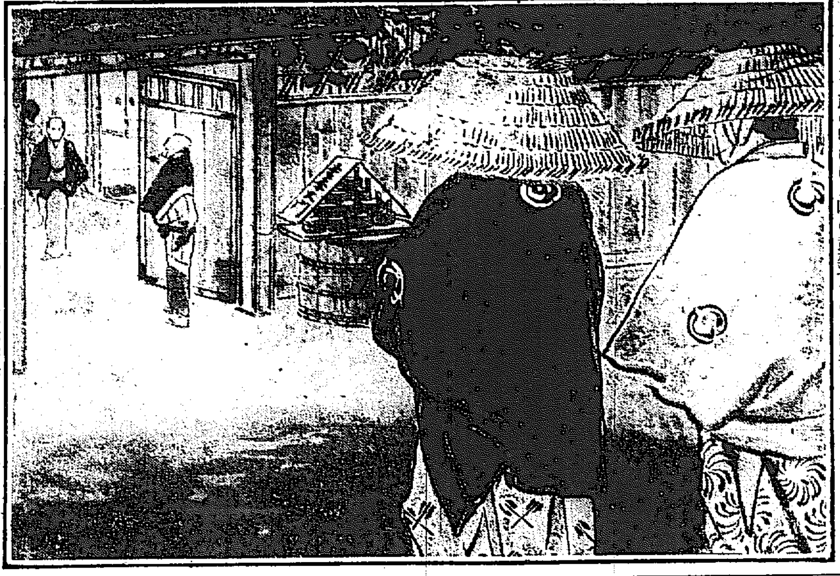
如『其れも安心するが宜い、宮本も流石我々には手が付けられんと見て今以つてグウの音も出さんではないか、多寡が細川の家來だ飛んでも跳ねても我々に指も差せるものでない、まア〳〵安心さつしやい、其宮本も大方出陣するであらうから、戰塲で若し廻り會つたら遣つて了へば宜しい

傳『什麼いたして仲々手前に遣れるものではない

如『アハヽヽ、舞公馬鹿に宮本を恐れて居るぢやアないか、しかし武藏の事であるからさもあらう、兎に角明十二月一日は花々しく送別の宴を開く事にいたさう

傳『御厚情千萬忝じけない』

と長束も喜こんで居る所へ追々方々から返事が來る、浪人組は申すまでもなく町奴は稻妻組の顔で他の組からも是非お見送りをといふので其數は三四百人にもならうといふ景氣、一橋も喜こんで居ります、藤島新之助から油斷なく此事を宮本の所へ申送りますから、武藏に於てもすつかり支度をして、左門を召連れ、前の晩に三浦屋四郎左衞門方へ赴むき、お雪にも支度をさせ、明日の首尾を祈つて居る、四郎左衞門も一生懸命でございますから庄司甚右衞門とも相談して、敵討が初まつたら直ぐに大門を締めて了はふといふ事に決めた、之れは申すまでもなく當の敵を逃がすやうな事があつてはならんからで、萬事拔目なく計らつて居ります。



カフエータイガー獨特の
すき燒　相始め候
例年多大の好評の爲め日本間手狹に御座候處此度内部を修築して間數を増加致し調理も一層美味を加へ申候
京城南大門通三（電話二五七一番）

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮　鳥羽毛類　鳥獸剝製標本
京城本町二丁目　樽元商行
電話長二〇六五番　振替京城三四九五番

九月廿三日九星
舊八月廿六日癸亥
本命七赤西滿先負

演藝案内

黄金館 電話一八五二（階上）一六三七（階下）
○九月二十一日より臨時特別大興行 ▲世界的大名篇 ○大冒險大活劇第十名金第十八編（地底の都）第十九編（噴火）終編近づきて… ○眼天覧賜台覧「歐洲戰亂線内實寫」全五巻…

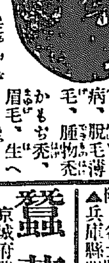
御成座 電話一九一
▲九月十七日より開演 朝鮮新派劇元祖革新團林聖九一行

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ○九月十九日より特別大興行 ○探偵活劇「死の假面」全四巻 …

浪花館 明治町 電話二六〇
大阪女義太夫一座竹本林之助一行 …

有樂館 本町一丁目 電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約 ○九月十五日特別大寫眞提供 …

大正館
大阪毎日新聞連載 大久保一代記 全六巻續篇
イタツラ小僧時代より七十三歳迄怪傑六十年間の活躍

博士創製の
毛生へ藥
田中醫學博士方劑
◎說明書無代進呈
前帝國大學教授田中醫學博士が多年苦心研究の末此度創製せられたフミナインは流石に名高い皮膚科專門の博士が創製だけあつてこれまでのアリフレタ藥と違ひ禿頭病、脫毛、薄毛、腫物禿、かもぢ禿、眉毛、生へ際其他あるべき所に毛無きに用ひて少しも身體に害が無く奇妙に毛を生やし脫毛を止めます　ハガキで東京芝愛宕町二の一東京藥院へ申込になると毛の手當と藥の說明書を封書で送ります


琴古流 尺八樂譜解說
琴古流 尺八樂譜
東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂童

りん病
消渇で困る方 多年の慢性のもの
自宅にて人知れず安全秘密に治療する良藥あり只一劑を試みよ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

牛乳搾取販賣 朝夕配達
仁川牛角洞 岩本次郎
電話七六七番

◎中風病
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其悲しき實驗より得たる良藥を往復ハガキにて照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す
▲兵庫縣明石郡治屋町 加古忠兵衛

蠶繭 屑物 賣買 業
京城府龍山漢江通八番地
河原壽夫繭絲店
電話（龍）四三一番

横濱 牛乳
純粹醫用 ヨーグルト
場主獸醫肥塚正太
京城 東亞牧場
（電話五二三番）

何れの家庭にも必要なる救急藥
登録商標 赤十字印
コロダイン
効能 食あたり○腹痛○胃痛○消化不良○はき下し○氣つけ○毒けし○暑あたり○頭痛○目まい○卒とう○惡心○船酒酔
常に少量づゝ服用すれば消化を能くし精神頗る壯快となる本品は全國各地藥店にあり
本舖 東京日本橋上槇町 安川晃榮堂
定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓

何より安心
特に此頃は食物の御撰擇が肝心
各位の御健康には是が尤も安全
森永ミルクキャラメル
煙草代用

ポケツト用大廿粒小十粒
當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田寧書氏兩顧問の推定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
5—18　森永製菓株式會社

新秋の新學期！
二ケ月に亘る暑中休暇を、運動に旅行に遠足に樂しく過ごされた我が敬愛する
學生諸君の面には
新學期に對する希望と決心とが輝いてゐる。
そして、
ライオン齒磨で
磨いた強い美しい齒は、勝利と成功とを必期する奮鬪努力のシムボルとも見られる。

第三版

京城日報

廿二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金八十五錢 郵税共 一ヶ月金一圓九拾錢 三ヶ月 三圓七拾錢 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字 ▲所指定一行金壹圓 ▲特號 ▲一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社 電話番號（編輯・營業）三六 振替京城二〇〇番

下關期米特電
▲二十一日後場（順季寄め）
當限 二二、九五 中限 一三、五二 先限 二二、七五
▲二十一日前場 …… 十四圓十九錢大阪前場 …… 四圓三十七錢寄合二十八錢の入荷にて當地寄付 …… 不申央す二圓五十四錢と同事に寄付一歩五錢と弱げたるも賣物多く折拗大阪の三節二十三錢四節十三錢と安移りに賣物現はれ四十七錢と押したるも大阪六節二
下垂ひたるが押目は又 …… 無事にし下押さず大阪止高 …… 返し三四錢を挽み合結局五十たり市況は前場の沸騰にて人氣加熱し居りたるも兎角大阪の大發動に比し伸び惱み下げ渡りの感あり爲に小發動に過ぎなかつた …… 後の

▲㊦能く賣る
…… たる玉數四千餘石の買りありたる …… 後場同店より賣りたる玉數三千餘石

▲邑の商內
…… の事 …… 一面二千餘石の賣りありたる由市場の注目を惹いたり 後場同店より賣りたる玉數三千餘石に上り買

▲現物界
沃川の …… 正三仮九回三十錢にて …… 商店三井買にて出 …… 米界は精米筋の見送りにて一向商行はれず氣配は多少安人氣なるも前報せし如く事情にて賣物薄の折柄賣り急ぐ手口もなく先

廿一日の十一月
（寄付）（止）

段節 四節 …… 十二圓四十九錢 十二圓五十四錢
九月限 一萬石
十月限 八千百石
十一月限 十四萬五百石

日支關係
京城日報

今日支那政府の最も苦むところは兵員の處分なり、蓋し支那騷亂中に募集したる兵員を徵集すること夥多、其既に不用なるに及びて、政府之を解散せむと欲するも、之れに支給すべき手當金を出さゞれば、其を散歸せしむる能はず、今日現に八十萬の兵員を擁して、當局者其の給養に苦みつゝありと云ふ。

日支那兵が實戰上、何程どの能力ありやは別問題として、兎に角も武器を携へたる集團なり、其の暴行掠奪を縱まにするものあり、亦己を得ざるの數にして、近頃滿洲諸地に於ては日本兵に對し無法の行爲を繰返すが如き、亦無用の兵を置いて其規律節制を正しくせざるに是れ由るべく、其の是非の論及び責任問題は別として、支那政府の今日の窮狀、亦甚だ憫むべきものあり。

今日我日本帝國と支那政府との間には、二個の全く其性質を異にしたる交渉あり、其一は我より提起したるところの借款問題なり、其れ支那兵が我軍隊に對して暴行を敢てしたる鄭家屯支那兵暴行事件處分問題にして、他の一は支那政府より求め來りと云ふ、此の如きは關係問題としては甚だ面白からざる事柄にして、若し今日の日支間の親善關係なからしめば、恰も是れ國交上の危險を伴ふべき問題なり、之に反して支那が其財政の救護を我に求むるといふが如きは、即ち是れ友邦相信じて疑はざるものにして、初めて之を試むるを得べく、前の交渉案件の未だ決定せざるの間を以て、後の交渉を求め來るを觀るも、支那政府の我に依賴することの甚だ深きを知るを得べし。

今日支那は政治借款一億圓を起して、之に依りて以て當面の財政を支持し、且諸般の整理を行はむと欲するものにして、彼に取りては緊急事件たるや論なし、而して近頃支那國稅收入極めて豐富にして、之に依りて國債整理の資源を求むる亦甚だ難からずと云ふ、若し天下無事の日ならば、其起債を歐羅巴に求むるは甚だ容易なるべしと雖も、歐洲諸國は今猶ほ交戰中にて、資金を支那に放出するの餘力あらず、英國の世界第一の富强を以てして、猶ほ米國にて五協國の爲替公債を發行するに當りて借償證券六億圓を抵當として提供するといふ始末なれば、今日支那にして其金主を求むるは天下只我日本と北米合衆國とあるのみなれども、米國は支那の政治借款に干繫せざるを以て、勢ひ支那は我に就てのみ之れを求むるの外なし、此度の交渉の成否は今逆睹すべからざれども、我にして相當の餘力あり、支那政府にして若し其財政其他の整理を實行し、其內憂外患の根源を絕つの誠意と確信とを以て、來りて之を我に謀らば其相談は容易に纏るべきなり。

觀光外客招致策私見（五）
―經濟調査會の研究問題―

朝鮮ホテル支配人 猪原貞雄

▲日本に於ける案內業者の改善

日本のホテルに於て皆外國人附隨の案內人に口錢を與へて居ることは明治十年頃から以後日本にホテルと言ふものが無かつた時に――假令あつても設備不完全の三室か五室の家で營業して居た時に外國語に通じた案內人が客を伴れて來て先づフライパンの柄の持方から寢床の作り樣まで敎へた時代にこれ等の案內人が頗るホテルに對して威張り且つ利益の半分以上を公然持ち去つたことに原因して居ますが今でも往々用舍に於ては此の類の弊があるさうです。案內人は先づホテルにお客を伴れて來ると自分の宿泊料の一割は當然ホテルから分配して居る此の惡習は今日迄も及んで現在でも二、三のホテルを除いては殆んど全部といつても良い位に宿泊料に對する一割は慣例として案內者に提供して居る、此のことは經營難のホテルにとつては實に困つた譯である、けれ共斯くしなければ外客を招致することが能きない上に折角逗留しやうとするお客さんも中傷的に早く出發させて了ふといふやうな惡辣手段をどらるゝ場合もあるので止むなく彼等に口錢を與へて居るのである、現に此の事が數年前ホテル協會で問題になつた際にも直ちに同業者間に裏切りしてよい子になつて物議を起したこともある次第で今日まで內心苦痛を感じながら實行なし得ないのである。これは日本のホテル業發展の爲めに識者の考慮を要すべきところと思ふ、また外國に於ける案內者なるものは主として其土地の名所案內を勸める位に限つて居るが日本では語學の素養の無い商人が多いために案內者が買物の口錢まで商人から取つて居るのが抑々多いので彼等の仲間では宜い客と言ふのは買物をする客を言ふのである、それで買る方でも正價に一割も二割も掛値をするこいふ始末、現に京都、横濱、東京の如き語學に不自由なき大商店にても五分乃至一割の口錢は當然のやうに思つて居るのは遺憾千萬の事である、故に不正案內業者を取締ると同時にこれ等の商人の不德義をも取締られ改良せられたきものである、それにまたホテルの經營者及び從業員で出入の商人から口錢をとるやうな事も耳にしますがこれ等は日本に外人を招致する上から言つて斷然取締るべきであると思ひます

▲洗濯及び自動車、馬車、人俥

次ぎに遺憾なのは日本に於ける洗濯の幼稚な事であります、これ等も將來設備を完全にして一般外人客の滿足するやうに改良したいものと思ひます、猶近來は一般に自動車を多く使用するやうになりましたので此のまゝにしても需要により相當な場所まで發達するものと思ひますが何分にも自動車の通ふやうな道路の惡いには困らざるを得ません、これは其の土地の發展策としても東京始め各地に於て改修する必要がありませう、現にホテルのお客中馬車や自動車で近郊を見物したいと思ふ人も道路の惡いために折角の快感を殺がれるといふやうなことを毎度聽きますが是非改良せられたいものと思ひます。次ぎに日本に於て用ゐられて居ます人力俥なるものは洵に重寶なもので最もよく外人觀光者に接し且用ゐられて居ますが一面また非常に厄介な代物であると申さねばなりませぬ全國各地の開港場その他京都、奈良宮の下等のホテルの車夫は半醉ながら英語を用ゐて外人客と商店の間に口錢を貪る者が尠なくないのであるこれ等も是非取締まられたいものと思ひますがそれには道路をよくして一般に自動車及び馬車を自由に用ゐるの他はなからうかと思ひます實に困つたものです

萬里の長城
附明の十三陵

鬱楚桂

―五―

方漸やく二三間許り、高さ又二間餘の石壁を以て疊んだ烽燧臺の入口には、襤褸に纏はれ破蓮に坐した盲目乞食がクルクルと眼をむいて擲られた小錢を手索りしてゐた。烽燧臺の裡に入ると一隅に天幕が張つてある何者の風流ぞ、と差し覗けば一方には粗末な椅子と卓子とを据ゑ一方には石油箱に板を載せた寢臺が設けられ座蒲團三四枚敷き並べ、空氣枕を備へ簡單な天幕生活の狀況を現出して居る。ト傍から一人の支那人が出て來た。『是れが主人でも無からう？』と思つてると案內の支那人が、主人は米國人の寫眞屋で今は北京に行つて留守だと云ふ。成程見ると壁間に長城の大寫眞が掛けてある。『非常に咽喉が渴いてるんだが、お茶を飮ませてくれないか？』と交渉すると易々として清潔な鉞力の藥罐に茶を煎れてくれる。例の黃花菜の茶だ。南の窓から吹上げて來る涼風を懷にしつゝ天下一の飲をして居ると、突然バタバタと羽音がして何やら頭上に重みを感じた、振仰げば傾いた頭上を去つて側に立つヘルメット帽へ飛び移る白鳩がある寫眞師の愛鳥だと云ふ。出せば手に止り肩に移り人と鳥との區別も無い程に馴れてゐる。

倚多少の時間もあるので長壁上を徘徊し四顧し默想する。何だか有ッ丈けの大聲で歌でも歌つて見たい樣な氣もする。そうかと思へばすぐ其後から深い深い沈思を欲する氣分も湧いてくる。

見ると足下の石疊の間から生れ出でた雜草に混つて野菊、澤桔梗の花が白く紫に咲き亂れてゐる。摘むとも無く摘むだ花の中には名も知らぬ美しく咲いた紫の色の花もある。誰を經由に送らう由も無く束ねた花を其儘に壁上より塞北の彼方へ抛げ捨つれば、風は高く低く弄んで蒔き零れた高粱の數本繁つた上に落ちて行く『寫眞を撮りますから入つて下さい』

不案な寫生連は一丁餘りも彼方の高みに集つて一人は頻りにピントを合せてゐる。

踏路は長城外に降り入遠嶺城門の前に立つ。遠く蒙古の地に北面して數丈の高さに屹立した門上の扁額には『北門鎖鑰』とした字が黃褐色に黯んでゐた。

城門を辭してより二十分時にして青龍橋に辿り著き青龍橋を發した列車は直路二時間餘にして南口に到著した。

何彼と交渉の末チン、ヱルホテルに泊る事にする。何でも一等が五圓、二等が三圓なのだけど此頃はお客が無いから一等を一圓廿五錢、二等を一圓に負けるんだ相だ。部屋の設備は立派な純洋風で鳥渡京城あたりのいゝ加減の宿屋など追ッ付く事ではない。天棚を張つた前庭に椅子と卓子を持ち出させて純支那式の晩餐會が始まる。誰れかゞ買つて來た高粱酒を嘗めずりずり油濃い料理に腹を滿し、食後は邑內を散歩などし又天棚下の椅子に寄り集り所在なさの話會が初まり寢に就いたのは十時頃。

明日は六點飯、六點半動身、馬七頭準備なぞ。

栗
（五の日十の日會吟）

○下男大勢に栗の秋來る　浮碧樓
○都人といはれ栗拾へり　鳥堂
○栗ゆでゝあゝ峯の日黃な　目池

△子規忌に不參して　柳
遠出踊り無き柿剝く　（鎮南浦より）坡
柿の皮の膝まわり灯る
毎日の柿賓に借りゐる　（京義線より）芳草樓
柿皆が熟れ島の倉並び　（醉より醒めて）目
聞借して柿の幸あるかな　池

日報歌壇

■大石ぬい灯（静岡にて）
秋の陽の白く降りしき川底の小石一齊に光りけるかも（安倍川にて）
川底に秋の陽させば一列の小魚の群れの鰭光りたれ
堀割の赤土肌に秋の草花の一つをふりかへりたれ
空青くあきつまひをり麓の市の物賣りのこゑ聞ゆきたるも（瀬櫻山公園にて）
あらたなる涙ならねど君が戀忌ると云ひし吾にはあらずや
切手賣る店の娘のあたゝかきおゆびによれつ旅に秋立つ
喧嘩して別れし友のふところに吾をゆるせと魂はもなげく
■石花島たかし（京城）
意氣地なしがこの無念さに堪ふるときゝ頭しんしん熱し來りぬ
■須古俊梨花（京城）
一秋を契れるらしもこの五日音になく窓の萩のこほろぎ
すがすがし磯山廻るしのゝめに海の言葉をふくむ朝風

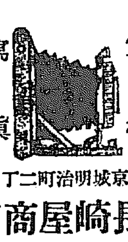
▲廣告▼

大正五年甲第一四八一號
公示催告
香川縣高松市古馬場町參番戸
申立人 武田彌一郎
一、貨物引替證書 壹通
但京城南大門通物品運送人武田彌一郎荷受人前同所成地高松市新港町四丁目京城作人四圓六拾錢第九九號大正五年八月九日高松取引所發行へ貨物ヲ引渡シ於テ國通運株式會社高松取引店發行
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ其の所持人ハ大正六年四月參拾日午前拾壹時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スベシ若シ屆出ヲ爲サヾルトキハ其ノ無效ヲ宣告スルコトアル可シ
大正五年九月二十日
京城地方法院

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
恭之口傳	吉田菊子	五〇
數學史（數學叢書）	林鶴一	一、五〇
大正青年と修養	足立栗園	六〇
實業立身傳	永田岳淵	五〇
家庭看病法	大關和子	八〇
一喝禪	中原鄧州	九〇
採證學	法律新聞社	二、〇〇
ユーモア十篇	佐々木邦	八〇
禪の手引	笛岡清泉	六五
詳解佛蘭西語文典	折竹錫	一、五〇
强い身體を造る法	川合徹亮	一、七〇
萬有之神秘	栗原古城	一、二〇
ワオードの社會學	遠藤隆吉	一、五〇
女學校の裏面	霞花山人	五〇
市石合攻 囲碁必勝法	瀬金崋一	一、〇〇
朝鮮語學提徑	佐藤錬堂	五〇
新合工場法の運用	岡文	七五
戰爭と國際法	立作太郎	三、五〇

大阪屋號書店 京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五番 仁川店

寫眞機 寫眞材料

京城明治町二丁目
長崎屋商店
電話二二二〇番

新刊 碧巖錄
新譯 （五版）
蜂谷柳莊先生 太田三郎新裝幀
世の所謂坊主讀を避け味噌臭きを厭ひ寧ろ俗解を施す、新譯の名を冠する所以、碧巖の幽玄深遠なる眞趣を知るに足る、定に思想界の殺人刀活人劍、明窓淨几是を繙き想を別乾坤に走せ給へ
總布天金 クロース入函装 定價壹圓 特別廉價 郵税八錢
東京日本橋 大阪屋號 振一三七五
京城 大阪屋號 振京二五七三 電話六八〇二・四八六

中學世界增刊
大正五年 受驗界詳解
◉九月十日發行 ◉本號に限り定價卅錢 郵税二錢
本年度の受驗界趨勢（入學難易研究）
入學志願者數合格者數（各學校入學試驗）
本年度の合格者氏名一覽
▲一高受驗の眞相 ▲陸軍士官學校受驗實記 ▲水産講習所受驗實記 ▲體格試驗に就て ▲來年度の試驗期日 ▲前年と本年の出題ぶり
▲英語……岡田一高敎授 ▲數學……渡邊一高敎授 ▲國文……杉一高敎授 ▲漢文……島田一高敎授 ▲歷史……齋藤一高敎授 ▲化學……菅沼一高敎授
高等學校入學試驗全科講評
海軍兵學校入學試驗珍妙な答案……岩佐同校敎授
海軍機關學校入學試驗成績に就て……高澤同校敎授
各官立學校入學試驗問題答案に註釋（英文和譯・和文英譯及文法……佐々木一高敎授、數學科、國漢文科……片山外語校敎授、物理、化學科）
東京本町 博文館 振替東京二百四十番

英語世界增刊
英語受驗號
英語入學試驗講評
▲受驗生に與ふ……神田名譽敎授 ▲答案を査べて……小島一高敎授 ▲實力養成の要……士官敎授 ▲受驗生の缺點……川井田敎授
諸學校受驗記（一高、高商、外國語學校）
英語入學試驗問題詳解（官立各校を網羅し詳細親切の解譯を加ふる百頁）
▲問題の要點……吉岡外語敎授 ▲答案の優秀……齋藤商船敎授 ▲誤譯と正譯……鹽島海機敎授 ▲答案の實例……泉高工敎授
大懸賞新題
九月拾日發行 本號に限り定價廿錢 郵税二錢五厘
受驗界
就職が早く確實な職は警官あるのみ▼內地、滿洲、朝鮮、支那及外國にて就職せられ▼目下募集中本會の講義錄で學べば受驗に合格確實なり▲會長顧問及講師は警察界の專門大家である▼青年及在郷軍人諸君の大福音▼直に入會して大成を期せよ 會則見本無料進呈 東京芝公園 警成協會

サクラビール

新時代の代表的 好飲料なり 御愛飲を冀ふ
神戸 合名會社 鈴木商店 京城出張所 京城南大門通二丁目 電話二九二四

朝鮮諸官廳 受驗講義錄
短語、會話、作文、文法、漢文、歷史、地理、算術、法學通論、行政法講義、現行朝鮮法規、各官衙學校試驗案內等
朝鮮ニ於テ官廳受驗參考科目八月十日ヨリ總督府及各道廳ニ於テ行ハルヽ朝鮮人文官雇員試驗ノ唯一ノ指針ナリ …… 完結全部完成 …… 九圓拾錢送料二十錢全部ニテ二十錢 ……
朝鮮京城旭町二丁目（朝鮮雜誌社內）
朝鮮斯文學會
電話一二五〇番 振替京城二九二番

屢々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車
御大典記念特製品（名古屋岡本製作所製品）
エンパイヤ號自轉車
品質優良二大製品
純英國製 錘馗タイヤー
日本製作等品 カクダイタイヤー
直輸入商 發賣元 鈴鹿商店 自轉車部 京都本店
朝鮮總代理店
朝鮮京城明治町二丁目
瀧川銃砲自轉車店
電話三〇二番

◎秋山少將の戰局觀

十七日英國より到著せる秋山海軍少將は直に華盛頓に向へるが歐洲戰局を概評して曰く獨逸の疲弊し來りし事は事實なるも戰爭は猶今後一年位繼續するものと見るを得べし（紐育電報）

◎佛軍稀有の成功

コンブル要塞包圍＝獨軍士氣沮喪

ソンム戰線に於ける佛軍は白耳義の東方に進出しソンム河に面する幾多の溪谷を奪取したり此の溪谷はバーリユー及びヴイレルス、カーボンネルに於る獨軍とロオエ及びネッスルの獨軍と聯絡線たりしものなり又獨軍の精兵に依て防禦せられつゝありしデニクールも佛軍の手に歸したり佛軍の成功は軍略上重要なるものにして之れ佛軍が懸てソンム河の北レヨールンヌ、バーリユを包圍するの第一歩なり佛軍は著々コンブル要塞をも包圍しつゝあり獨軍は今日迄同要塞に對しモーレパ街道に據りての聯合軍の砲火を冒しつゝ糧食を補給しつゝありしなり要塞内の敵兵はデニクールに於て被れると同樣の損失を招くの運命に近づきつゝあり佛軍今回の成功は佛軍の勇敢と他兵隊の活動の極めて優秀なる（其の優秀なるは獨逸の諸新聞も之を認め居れり）とに依りて收め得たるものにして獨軍は過ぐる五日間に佛軍の爲め三度擊破せられ無從の犧牲を出したる事多かりし爲め士氣頓に衰へつゝあり即ち九月十三日中央部に十五日左翼部に同十七日右翼部に打擊を受け同期間に捕虜六千名を佛軍の手に委せしめたり（紐育電報）

◎聯合軍國別捕虜數

ジョーナル紙は二十日聯合軍が七月一日より今日迄に獲たる捕虜數を發表せるが（但しマセドニア方面に於ける捕虜は含まず）國別は露軍は四十萬二千四百七十一名、佛軍は三萬三千六百九十九名、伊軍は三萬三千四十八名、英軍は二萬一千四百五十名即ち合計四十九萬六百六十八名に達せり（紐育電報）

◎湖南議員陳氏彈劾

湖南選出議員は五百萬元借欵に一層反對し陳總長を彈劾せんと準備中なり（北京特電）

◎陳總長辭意鞏固

代理財政總長陳錦濤氏の辭意案外鞏固なるより總統府側にては之を翻す事不可能ならんと觀測し居れり（北京特電）

◎借欵交渉と銀行團

支那政府は借欵問題に就き十五日正式に交渉開始を求め來りたるを以て北京銀行團は十八日會議の結果各本國に訓電を請ひたり（北京特電）

◎借欵使途

五百萬圓の使途

支那側の報道に據れば、今回の五百萬圓借欵は手數料六分即ち三十萬圓を控除し其の殘額四百七十萬圓の使途は廣東龍濟光軍隊解散、山東諸軍隊解散費の補充、清皇室經費及び中國銀行流通貨幣用に充つる計算なり（北京特電）

◎閑院宮御著期

露勅使の御出迎

遣露大使閑院宮殿下には内山、安達、吉田等各隨員を從へ露國皇帝陛下御使タチシエフ少將等の御先導により來る二十三日午後九時五十五分ペトログラードに御到著あらせらるべき旨其の筋に電報ありたり（東京特電）

◎電機輸出旺盛

……該機業は近來隆興を見るに至れるが……戰中なる由なるが當市に於ける輸出狀況は何分突然的の活況にて支那……る注文を齎し來れり而も當地生產能力は生產者の割合には個々の能……と而して輸入狀況は獨逸のシーメンス、ノルゲマイ等は全然杜絕し米國……此の狀況の普及に依り……瓦斯石油或は蒸氣……みならず電燈會社に……

◎宮殿下御出迎

クラスノヤルスク來電に依れば閑院宮殿下御一行は特別列車にて御到著官憲の出迎ひを受けさせられたるが軍樂隊は君が代を奏し知事はエニセイスク地方を代表して歡迎の辭を述べ宮殿下には甚だ御滿足なる旨御答辭ありたり（露都電報）

◎露內國債發行

露都來電に曰く年利五分五厘附露國新內國債三億留は來る十月十五日發行せらるべく償還期間は十箇年なり（倫敦電報）

◎三線運賃問題

大隈首相は三線聯絡運賃問題に關し來る十月五日寺內朝鮮總督、大屋朝鮮鐵道局長官、中村關東都督、中村滿鐵總裁等を東京に召集し熟議を重ねたる上最後の解決を爲す事とし此旨內閣より各關係者に通牒せり（東京特電）

◎公友代議士會

公友俱樂部幹事會にては二十日午後協議の結果愈々合同問題に關し來る十月一日午後一時より帝國ホテルに於て代議士會を開き一、三派合同に參加するや否や二、公友俱樂部を解散するや否やの二問題を附議する事に決したるを以て今月中に公友俱樂部內の合同問題は一切の解決を見るに至る可し（東京特電）

◎中旬對外貿易

大藏省の調査に係る九月中旬の外國貿易は輸出に於て生絲、燐寸、茶等の減少せしに係はらず銅、綿、織物、莫大小等の增加に由り前旬に比し一割二分を增加し輸入は棉花の著しき增加に次で板鐵類、石油、砂糖、紙類、油糟等增加し前旬に比し三割五分を增加し其の結果九百三十五萬四千圓の輸出超過を示し一月以降の累計一億八千五百二十五萬圓に達したり（東京特電）

◎未墾地の處分

▲總督府直轄　大正四年四月より大正五年三月末に至る一箇年間の國有未墾地貸付出願は二百六十八件此の面積一萬一千二百九十四町步にして貸付其の他の處分を爲したるもの三百八十七件此の面積二萬六千三百四十町步貸付出願に比し處分件數及び面積の增加せるは前年度末處分のものを本年度に處分せるものあるに依るなり、而して此の內貸付許可を與へたるもの百三十五件面積四千百九十八町步を算し又た事業の成績に依り付與若くは拂下を爲したるもの三十二件面積五百十町步あり、今國有未墾地利用法施行以來の累計を示せば左の如し

	貸付許可 件數	貸付許可 面積	付與又は拂下 件數	付與又は拂下 面積
內地人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲道長官處分　同期中に於て道長官の委任權限に屬する三町步未滿の貸付許可は百二十二件此の面積四百六十三町步にして事業の成功に依り付與又は拂下を爲したるもの百六十件拂下四件面積百三十三町步なり之を明治四十四年七月委任以來の累計に就いて見るに左の如し

	貸付許可 件數	貸付許可 面積	付與又は拂下 件數	付與又は拂下 面積
內地人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎慶北稗害甚大

慶尙北道管內に於ける本年米作は一般的に觀察すれば豐作たるも植付後六十有餘日の降雨なりし故農家の除草度數少なかりし爲め各郡共稗發生し漆谷郡の如きは一坪六十五本に達し淸道郡の如きは一坪に四合二勺の稗を得たる狀態にて此儘に出來秋に至らば今年の米穀は非常に聲價を下落せしめ甚大の損害となる可きは明なる事實なれば各地穀物改良組合員は是が善後策に就き凝議する所あり廿日俵館、淸道の組合員態々道廳に出頭し陳情する所ありしが道廳に於ても目下技術員を派し調査せしめつゝあれば至急何等かの方法を講ずるに至る可しと

◎慶北金融近況

慶北各地金融組合調査にかゝる八月中の金融界は北部安東地方にありては麻價麻布價の流入と共に一般金融潤澤の現象にて東部浦項地方は舊盆の決濟資金祭祀費用の調達水利工事に投下されたる資金が能く金融界を緩和し西部金泉地方は米價高調と共に金融頗る敏活となり繁忙を來たし南部大邱を中心とせる地方には夏枯商況不振は著しく前諸取引の促進に連れ資金を喚起し金融の活潑を告ぐるに至りしが今各地二十五組合金融貸付金に於て二十四萬三千六百三十四圓是を前月に比すれば一萬三千七百五十二圓の增加預り金三萬二千五百十一圓前月に比し一千百七十七圓の增加預け金十三萬八千四百四十四圓之を前月に比し一萬二百十四圓の減少、現金五千九百八十九圓是を前月に比し六百二十七圓の減少、組合員八千四百二十八人是を前月に比し八百九十八人の增加を示しつゝあり

◎經理部長視察

軍司令官經理部長廣瀨主計監は北鮮各地部隊經理狀況視察の爲め二十六日朝龍山出發の筈なるが豫定は約一箇月の豫定なりと

◎學校の管理問題　西大門

小學校の兒童が休み時間中窓外に墜落し遂に死を招くに至りたる由は所報の如くなるが右につき當局に於ても學校の管理方法に關し種々研究したる結果休み時間中に於て各擔任教師は絕えず兒童の行動を監督し衛生其他の點に就き手落なからしむべしとの內訓を發するに至りたるが各學校側は僅々十五分間の休み時間を兒童の監督にのみ費し居つては次の時間の準備は素より左なきだに多忙なる一日の教務を怠るに至る可きものなればとの反對說出で結局二十一日開會したる公立小學校長會にて研究評議する所ありたるものゝ如し

◎朝郵重役會

朝鮮郵船會社にては十月十日頃重役會議を開き本期決算案を附議決定の上株主總會召集の通告を發すべしとの事なるが總會は十五日前後なるべしと

◎押川長官歡迎

總督府の經濟研究會の主催に係る押川製鐵所長官歡迎會は廿一日午後六時より朝鮮ホテルに於て開かれ當日は押川長官を始め吉川經理部長井原嘱託、吉田秘書一行悉く出席し主人側にては宇佐美內務部長官、秋山參事官、持地土木局長、中村技師、橫井汽車課長、三本鐵道局理事、水越、三島、木村、銀理事、林、井上村田東拓理事、秋谷山縣兩新聞社長等研究會員並に有志官民五十餘名にて六時半研究會幹事長代理村田俊彥氏の挨拶ありて押川長官は帝國の製鐵業と製鐵所の現在及び將來に關する談話を試み製鐵所の擴張計畫に對する朝鮮と製鐵所との關係等につき詳說する所あり七時半大食堂を開き宴酣にして長官に對し宇佐美長官は主人側を代表して挨拶を述べ乾杯し之に對する押川氏の謝辭あり撤宴後別室にて寬談後頗る盛會裡に十時散會す

◎金武官東上

過般入京中なりし王世子附武官金應善氏は二十二日午前八時三十分南大門發東上すべし

◎戰鬪激烈

ナラジュウ河地帶

雅典公報に曰くナラジュウ河地帶にて激烈なる戰鬪續行せられ敵の攻擊は總て多大の損害を被りて擊退せられたりカーバジアン山には既に降雪を見る（倫敦特電）

◎希捕虜兵送還要求

雅典來電に依れば希臘は獨勃兩國に對しガバラに於て捕虜となれる希臘兵を直ちに送還すべき事を要求し九月二十日夜を期限として最後の通牒を交附したるものと信ぜらる（紐育電報）

◎希臘外相の任命に挨拶無

雅典來電に曰く、聯合國側の希臘駐在大、公使は擧新外相カラパノス氏の任命に對し不滿の意を表し同氏に對し就任の挨拶を爲さず（倫敦電報）

◎巡査採用試驗

來る二十四日午前八時憲兵補助員練習所にては巡査採用試驗を擧行受驗志望者は同日午前八時迄に願書を提出すべしと

◎三井一等軍醫轉任

金澤步兵第三十五聯隊より轉任せる憲兵隊附一等軍醫三井總策氏は九月十六日附を以て春川憲兵隊附を命ぜらる

人事消息

▲川村鉉四郎氏（伯爵）　入京中の處二十一日朝退京

▲中村光吉氏（鮮銀浦鹽支店長）　二十一日入京不知火へ

▲宇都宮歌舞團一行　入京中の處二十二日朝九時十分南大門驛發平壤へ

▲藤原俊雄氏（建築材料商）　入京中の處二十一日退京

●後藤瑞巖師　南鮮地方巡錫中の處二十一日朝歸山

◎南言北語

支那の政界は又々頗る寒心に堪へない空模樣になつて來た▲北京には國會が開かれてゐるから張勳一派の武斷派は徐州に各省行政區域聯合會なる成城關なるものを組織し大會を開いた▲張勳が正長官に倪嗣沖が副長官に秘書が沈惠樞だと云へば此會の主旨も大概知れるのだらう▲其れに唐紹儀が今々北上する事になつたから南方派は唐の上京を擁し孫內務、谷農商務、范教育等の各總長を始め有力者は天津で一大會議を開き結束を固めると云ふ▲其れのみならず段總理は南北兩派に介在して窮かに唐の入京に先ちて窮固たる地步を固むべく非常に熱中して居る▲殊に十四日急遽國務會議を開き大借欵を議決して十五日の深更五國借欵團に對して正式に申込んだ處などは大に理由の存する處である▲總理は競に張勳等十五省の督軍省長等が國會及び憲法に干涉した件に對しては▲軍人は服從を天職とす斷じて政治に干與すべからず且つ共和制は民を主とし三權分立相互に干涉するの權なしと手痛く跳ねつけた▲其他閣に乘じて馮國璋を迎へて副總理に擁立しやうとして居る連中もある▲政界は徐々コンガラガッて前途は頗る暗澹たる妖雲に掩はれて來たサテ〳〵

新刊書御案內

書名	著者	定價
隣里全集日記及消息 第六卷	久米正雄	一、五〇
美術叢書 立體派と後期印象派	[illegible]	一、五〇
詳解佛蘭西文典	折竹錫	一、五〇
春浪快著集第二卷	押川春浪	一、二〇
小說 受難者	江馬修	一、三〇
力の生活	前田晁雲	八五
鬼の面	谷崎潤一郎	八五
宗教と人生	帆足理一郎	一、三〇
一喝禪	[illegible]	九〇
清教徒神風連	福本日南	一、二〇
大英國の危機	[illegible]	七五
散文集 自然と愛	金子薰園	五五
大正青年と修養	足立栗園	六〇
修養叢書 新編實業立身傳	永田吾潤	五〇
修養叢書 新編青年立志編	永田吾潤	五〇
探偵十八番	東京樂遊	三五
四季の料理	中川愛氷	四五
朝鮮人の衣食住	村上唯吉	二五
實用先例 布石攻合法	中川龜三郎	一、二〇

大阪屋號書店　京城本町　電六八四・二〇八六　振替京城二五七三

各種染料　地方より御注文は各洋行品御希望の通買次可致候　染料商　豐　後藤商店　京城長谷川町五十八　電話二一一八番

我が政府の奬勵製品・製品は常に新しくて非常によい
ヒシ印ミルク
金牌受領　於東京海事水產博覽會　大阪貿易品共進會
保證の出來得る煉乳にはヒシ印の商標あり
全國到る處の藥店洋酒食料品店にあり
大阪市　洋酒罐詰食料品問屋　祭原伊太郎

袋物金具
◎がま口用口金　角形、丸形、月形、梅形、蛤形、桃形、柿形、押口、櫛形、扇形、蝶形、茄子形、ハート形、富士形、千鳥形、夫婦形等數百種
◎パック用口金　手提袋口金、同鎖附、同模樣入、同兩執附、同三枚口、最新式の二重鎖附、花園バック、舞鶴バック、クラブバック、花蝶バック、大和バック、パックオペラバック、龜甲バック、スモールバック等二百餘種
◎雜具　たち庖丁、目打、金槌、挫丸、がま口金入器、鳩目拔、アンチ螢、鍍金等數十種
京城明治町筋　電話一三五九番　尾琴屋

鑛業所開設
鑛物の鑑定及分拆◇鑛山の鑑定◇鑛業の設計並顧問◇採鑛及冶金の教方◇鑛山の測量及製圖◇鑛業の出願手續
其他鑛業上に關する一切の事項
京城永樂町一丁目十三番地（電話二八四七番）
上田鑛業所　所主　工學士　上田徹

日韓書房　新版報告
刺青　谷崎潤一郎著　外十篇　定價九十五錢　送料八錢
宗教と人生　帆足理一郎著　定價一圓二十錢　送料十二錢
生死透脫　禪と武士道　橫尾賢宗著　定價一圓　送料十錢
牛　岡本米藏著　第卅六版　定價一圓　送料十錢
新文章講話　五十嵐力著　七版　縮刷　定價一圓四十錢　送料十錢
京城本町二丁目　朝鮮振替口座一一五四一五番

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラパロイド　最上毛製屋根葺用
朝鮮總代理店　京城本町二丁目（電話長四五番、二七七四番）　釘本藤次郎本店　振替貯金口座京城二五六番

一流大家の腕競べ!!!　娛樂世界十月號
講談 落語　新十八番
原作　駱駝（落語世直の大長篇）　柳家小さん
怪談幽靈旅館　岡本綺堂
八百屋お七　神田松鯉
役者盜用　鬼太郎
夕立勘五郎（長講）　神田伯山
泥棒の泥棒　三遊亭金三
蟒鐵五郎（長談）　一龍齋貞山
朝鮮の妖怪　八五郎
義士別錄　野口源右衛門　早川貞水
活動寫眞撮影大失敗　桂田阿鶴坊
文化白浪　金五郎再會　悟道軒圓玉
花柳物語　名妓の行衛　吉丁字
仙石騷動　左京の出府　錦城齋典山
新作男子檢出　三遊亭圓楠
百川研究　清水巖鐵（長講）　松林右圓
一つ穴（長講落語）　橘家圓藏
西洋活動寫眞譚　[illegible]
寬政紀文　淺井宗三郎　猫遊軒伯知
新講談　思出記　[illegible]
新藏兄弟　初五郎島破　小金井芦州
妖術に（小說）　小山內薰
仁王太郎高尾　紅葉狩（長講）　桃川如燕
本號に限り正價卅錢送料三錢
發行元東京日本橋ヌキヤ町　娛樂世界社　振替東京三八四四四番　電話本局五二六二番

藍玉
本場精選の地藍移入仕候に付一坪分以上御入用の御方には特別破額を以て販賣仕候
▲代價の儀は御照會次第直に御報可申上候
釜山本町四丁目　電話七八一番　小津商店

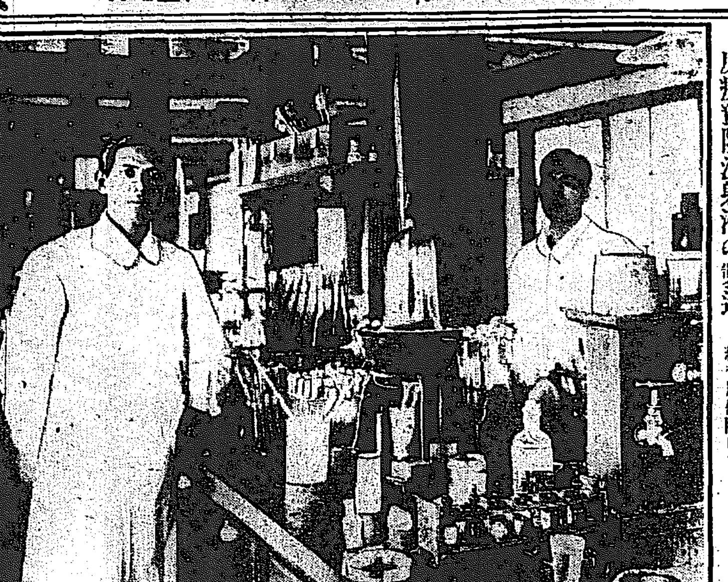
…も戦後尚今日の好況を維持し得可き…やに就ては遞信當局に於て奨勵策を講ぜられ目下東京に於て斯業者協…盛況を告げ居れるは多く器具にしてソケットの如き又數萬打に隆まりたあり其旺盛なる内地用は僅々百個許りの品も一二…を要する狀態なりしたる夥しきものは三井三菱等當り其他斯業者の續出にて電氣化學工業等の需要益々稱旺し製造家は非常の繁忙を呈し居れり（大阪）

…一組を窃取して逃走せる所を同所の巡査に捕まる

…はせたる腰掛を以て同人の頭部を亂打し治療三週間を要する創傷を負は…

…潮流のために押し流され行方不明となりたるより捜索の結果船體は直ち…

虎疫豫防注射液の製造―總督府醫院にて



◎虎疫豫防注射液は

＝恁うして製造する＝（下）

肉汁＝寒天＝白金線＝食鹽水

總督府副醫官　田中丸治平氏談

豫防液を製造へるには三日間を要する事に成つて居るが先づ第一日目には牛肉百五十匁に水千グラムの割合にして大釜の中に容れてグツ〳〵と煮詰めて其の水を濾過紙で濾すと

◇黄色の肉汁　が取れる其の肉汁の中へ矢張り肉から取つたペプトン（食物中の蛋白質より胃液及び膵液の作用に由りて生じたる消化生産物の一、不溶解性より溶解性に變じたるもの。水、酸、アルカリ等に溶解す）と食鹽と寒天とを加へて再び能く溶解するまで煮て、又其の煮た汁を濾過紙に掛けて濾すと今度は緒色の液體が取れる此の液を拇位の太さの硝子の試驗管に少し宛、分けて注ぎ入れ夫れを熱氣消毒した後、試驗管を稍斜めに臥かせて置くと管内の液體は寒天が混入されて居るから其の儘斜面の形狀に固まるのであるが之れが即ち寒天培養基と云ふものであるツマリ虎疫菌は此の寒天の固つた平面に植み付けられて繁殖するのである第二日目に成ると此の寒天培養基へ豫て別の試驗管で培養して置いた虎列拉菌を白金線の先の方の曲つたので

◇寒天の上へ　移植して其れを黴菌の發育に適當の温度を保つた孵卵器の中に納れて二十四時間培養すると一つの寒天の上に夥しい何億と云ふ程の虎列拉菌が發育して居るのである、培養基に植付ける虎疫菌は釜山に發生した患者及び仁川に發生した患者の糞便中から取つて來たものである、第三日目に成るとこの寒天培養基に繁殖した虎疫菌をば更に白金の線で掻き取り硝子器の中に集めて其の目方を量り其の分量に應じて食鹽水を加へたものを釜に容れ五十八度の

◇熱を與へて　滅菌した上で之れに五プロセントの割合に石炭酸を加へると之れで完全なる虎疫豫防注射液が出來上つた譯であるが最も近來は感作豫防液といふものがあるが之れは製造にも非常の手數を要するが其の大略を云へば寒天培養器で培養したコレラ菌を取り精密に目方を量り之れに一定量のコレラ血精を加へ（硝子製のコルベンに入れ夫れを振盪器に掛けて能く攪和すること約二時間、夫れから遠心器用の硝子罎に移して遠心器に掛け菌の沈澱を待つて其の上澄の血清何回も〳〵取り去り更に其沈澱に食鹽水を加へて攪和し再び遠心器で處置すると、コレラ菌は血清の有効分と結合する之れに食鹽水を混じ稀ば〇、五プロセンスの割合に石炭酸を加へたものが即ち感作豫防注射液である、此の豫防液は寒扶斯菌の製法と

◇同一の方法　であるが今日の處まだ感作液は試驗時期であつて其の結果の充分なる報告はないがコレル氏液即ち當研究所で製造して居る豫防注射液の好結果は何十萬人と云ふ程の報告があつて既に完全なる豫防液であるといふ事が能きる、豫防液を注射すれば如何なる作用を起して免疫を得るかと云ふ事は今日までまだ明かに知る事を得ない

◎總督府醫院の豫防注射

總督府醫院にては毎日（日曜大祭日を除く）午後二時より午後四時迄虎疫豫防注射をなす可く團體は豫め同院用度課に打合せの上日時等を協定せられたしと

◎又も釜山に怪しき患者

釜山埋立新町酒幕に於て吐瀉を爲したる鮮人患者あり醫師出張して檢疫を爲し目下嚴重に警戒中也と（釜山特電）

◎交通遮斷　圏内各人の檢便

櫻井町の注意患者＝今朝病症判明せん

二十一日京城櫻井町一丁目に注意患者發生したることは取敢へず夕刊所報の如くなるが患者小室まさ（三）は同日午後二時頃本町警察署より出張したる衛生主任佐藤警部以下數名防疫班に依り擔架にて順化醫院に收容されたるが頗る重態の模樣なり患家筑紫醫院にては大消毒を施し入院患者家族の健康診斷をなしたるが幸に何れも異狀なく同時に近接せる内地人一戸朝鮮人三戸を隔離し附近十數戸に對して交通遮斷をなし一方患者の實家なる花園町の居宅をも消毒檢診し患者初め患家隔離家の各人に就き採便をなして檢診に附したり患者が果して何菌なるや否やは二十二日午前七八時頃ならでは不明なりと而して患者は二十一日午後二時頃の入院後より午後七時半頃迄に食鹽注射二回をなし別に五分間毎にカンフル注射を續けゐたり因みに原因系統等は目下取調べ中なり

◎仁川內地人街に頻發

昨日更に寺町及び花町に發生　商業學校は向ふ一週間の休校

仁川に於ける虎疫は遂びに二十日午後九時頃萬石町なる内地人市街を襲ひたるが更らに二十一日に至り寺町五の七居住鮮人田光春（六）疑似虎列拉に罹り同町は勿論隣接せる寺町の一部も交通遮斷區域になりたるより寺町所在商業學校も同日より向ふ一週間休校となり更に午後に至り花町一丁目金千蘭（一）疑似虎疫に罹りたる爲當局者は愕然色を失し同町内は内地人市街地及び下水溝の上部たるを以て一度虎疫の侵入を見んか驚く可き勢を以て人家稠密せる內地人市街を襲ふ可しと一般に危惧せられ居るを以て人心恟々當局は全力を盡して防疫に力め居れり

◎輕井澤外人殺し　眞犯人　東京にて捕はる

信州輕井澤に於て英人宣教師キヤンベル氏夫妻を殺したる犯人は八方搜索中の所二十日夜に至り突如として警視廳の手に捕はれたり犯人は栃木縣生れ工兵軍曹川上源（二）にて曾て輕井澤に居住し居りたる事あり警視廳にては十七日遺留品より犯人は川上なる事を斷定し直ちに大活動を開始せる結果廿一日午前三時東京市芝區内某所に於て難なく取押へ遺留品を突き付け嚴重に取調べの結果廿一日朝遂に罪狀を白狀せり（東京特電）

◎警官の大活動

▲檢病調査と豫防講話

京城に怪しい患者が發生したので府内各隊署では警戒おさ〳〵怠りないが本町警察署では從來一箇月一回宛であつた各戸の檢病的戸口調査を二十一日から

▲五日毎に一回　以上の割合を以て管内各戸に臨檢して戸口調査に依り檢病的調査を行ふことになつた、元來戸口調査は調査する警官の方でも厄介な仕事であり調査を受ける方でも頗る五月蠅がつて偶には逃げ匿れする向きも尠くないが此際府民たるものは公衆衛生上の義務を重んじ患者があつたら匿し立てなどせず直ちに訴へ出て貰ひたいものであると係員は話してゐた、尚同署では該數日間に亙り

▲毎日午前中は　非番巡査全部を以て各飲食物の檢査と破棄處分を勵行し一方醫生、藥種商、料理屋飲食店、宿屋、下宿屋等の營業者を本署に召集して衛生講話をなす筈である二十一日は衛生講話主任佐藤警部は新町に出張し同町全部の居住者を召集し防疫講話を行つたところ同町民約一千名は

▲之れに感動し　豫防液の注射をなすべく申合せをやつた、又同署管内所在の各活動寫眞館辯士をやらせてゐる鉄路警察署でも同様の方法を以て檢病的戸口調査を勵行してゐるが松井署長は各洞民を一日（櫻井町の患者避病院へ送る）順化院へに約三千名内外宛召集して此後數日間に亙り防疫講話をつゞける筈

◎怪しい患者を發見したら

直ちに屆け出でよ　京城府民は極めて細心に警戒せよ

本町警察署長　宮舘貞一氏談

虎列拉の病毒は早や既に目と鼻との間に現はれて來た此際注意すべきは仁川其他流行地からの侵入を防止することは云ふ迄も無いが猶夫れ以上痛切に細心に警戒すべきは京城現住者の間に患者を出さないことである萬一不幸にも京城に虎疫患者が發生したら洵に

▲由々しき大事　であるから先づ疑はしき患者を最も逸く發見することが防遏豫備策としての最大急務である病毒の發見さへ迅速であつたら之を撲滅することは割合に容易であるが從來の習慣として附近に患者が發生した場合互に匿し合ひをやつて醫師の診察も受けず其の儘に放棄して置く者さへあるが殊に朝鮮人は舊習に依り絕對秘密主義であるから無暗に匿し立てをして屆出をせぬ者が多い近隣居住の交際的情義に驅られお互に匿し合ひをして秘密の裡に葬つて終ふやうな

▲姑息的の情義　を守つた爲め後に至て取返しのつかない大事に及ぶやうな動機は往々恁うした原因から出現する此際京城居住者は如何なる方法でもよいから怪しい患者を發見したら最寄の交番なり又は何所でもよいから報知して貰ひたいものである、此は實に公衆衛生上最も大切なことである明治四十二年中に於ける仁川の虎疫の際にも各町洞に衛生委員を置いて側面から密偵して盛んに病毒の蔓延を防止し得て功を奏したことがあつた夫れで警察でも檢病的戸口調査をして五日に一回以上は各戸に受持巡査が臨檢することになつてゐるから各戸共匿しだてをせずに遠慮なく

▲有の儘を知らせて貰ひたい二十日には果物類生魚の臨檢處分を勵行した結果怪しいものを荷車で三臺許り處分したが今更衛生談を繰返す迄もなく第一生物類は一切控目にすること汚水に觸れぬこと食前に細心の注意を拂ふこと食器類を消毒すること蠅を退治すること、下水及び便所と炊事場との連絡をとつてゐる鼠を撲殺することが肝要で是は誰にも容易になし得ることである要するに病毒の勦滅は言ふ迄もなく官民公衆相俟つて遂行せねばならぬことである

▲遮斷區域擴大　仁川防疫交通遮斷區域は栖覘附近鐵道線路を起點として其東北方一帶及び花千里と松林里龍岡町栁町なりしが二十日萬石町に內地人新患者發生したるを以て同方面も遮斷の止むなきに至れり

▲列車乘込警官　仁川に虎疫發生以來仁川驛及び柾峴驛に於て嚴重なる檢疫を實行し列車內警戒としては永登浦驛より警官二名乘込み危險地域よりの乘車客に對し一々姓名住所行先地等を聞糺し防疫に記載し居たるも該大田驛迄は十數分の短時間に過ぎずして遺漏もあり且つ中間驛に下車する者もある爲係員の監視からざるより廿二日より便宜上仁川驛より警官二名乘込ましむる事となれり

◎仁川防疫彙報

▲其後の新患者　仁川の虎列拉は愈々猖獗を極め二十日午後一時以後の調査に依れば既報の外花平里仲佳[illegible]（五四）同人妻金姓女（三二）同村大林時南（三九）同人[illegible]安全氏（四三）の四名及び[illegible]（六八）は何れも疑似虎列拉と檢診し[illegible]里金[illegible]姉[illegible]順（九ツ）は眞正と決定せり[illegible]同日午後十一時迄に松林里[illegible]（二十一日午後十一時着電話）[illegible]（三八）同人三女黃興順（三ツ）松林里[illegible]今朝[illegible]三ツ）も病疑似患者として收容せり

◎太田檢疫開始

湖南線柾山太田警察署にては警戒地網由者及び京釜線等に虎疫襲來せしを以て一般降車各員の檢疫を開始する筈

◎教育研究會饗應

熊本縣教育視察團一行は二十日午後九時南大門驛着入京に付京城教育研究會主催となり二十一日午後四時教育俱樂部にて一行を招待し茶菓を饗應すべしと

◎貧民救助　三千五百名

仁川の虎疫患者の日々増加し遮斷區域擴大するに伴ひ日稼鮮人の糊口に窮し救助を要するもの實に三千五百餘名の多きに達せるが仁川府廳にては二十一日より府吏八名を救助班に別ち夫々必要の人夫を附し貧民の救助を開始せり救助程度は大人一日四合、十歲以上十五歲迄三合十歲未滿其半分の割合なりと

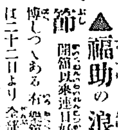
◎嬰兒殺し判決

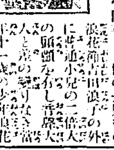
京畿道振威郡松炭面住蔵里崔某洙（二七）といふ小女は昨年舊七月より十一月迄の間に同里の崔某德、崔某祥といふ二人の者と私通したる結果遂に懷姙し大正の情夫に身の振方を相談したるも力になつて呉れず八月一日男兒を分娩…

◎訂正　昨夕刊二面『虎疫豫防注射料三兩六十錢』と題する記事中『一人分一兩六十錢』とあるは四十人分の誤りに付き訂正す

九月二十二日より
舊劇　九紋龍長次
新派　喜劇神かくし
泰西正劇　死のダンス
餘興　浪花節　吉田百々雀　吉田奈良子
十一歲の奇童
おなじみ
本町一丁目　有樂館

▲福助の浪花節　開館以來連日好評を博しつゝある有樂館にては二十二日より全部新たに番組を…同夜より例のお馴染の浪花節吉田奈良子の外に普通小兒の二倍大の頭顱を有し音聲大人と異なる輕妙な少年十一歲の少年浪花節吉田百々雀を大阪より呼び餘興として連夜出場せしむる由▲喜劇ベテー週報▲海馬陸大將の假想▲冒險活劇死のダンス全三卷▲新派悲劇返り咲き卷▲舊劇九紋龍長次全三





有樂館出演の百々雀

▲黃金館　例の第十名會と共に今回の寫眞は呼物となり居れる歐洲實戰寫眞にて二十一日より開場したり

▲大正館　今回は講談本にて多數の顧客を有する新劇大久保彥左衞門一代記が評判にて大入を續け居れり

▲浪花館　竹本林之助一座の女義太夫にて二十二日の語り物左の如く今晩の太切語合は忠七一力茶屋なり△一の谷組討（廣久）△由良湊千軒長者山椒太夫（林廣）△日吉丸小牧山城中（住子）△艶容女舞衣酒屋（林玉）△北條佐倉鶴儀作內（長外）△御所櫻堀川夜討辨慶上使（久子）△戀女房染分手綱重の井子別れ（廣治）△先代萩御殿（林之助東馬連）

▲虎剌拉と活動辯士　此頃の活動の辯士は頭から活辯と呼ばれて女でも騒ぐ外に何の能も無いものと思はれてゐた所京城では虎疫流行に付き豫防のためとあつて其筋から達した用して休憩時間を利用し虎剌拉の如何に恐るべきものなるかを講話せしむる事にした敢て名譽と言ふわけでも無いが官憲から恁いふ事を頼まれるのは彼等の努力が充分でも認めたわけであるから今後も映畫說明上公衆に對する場合その言旬に注意する樣にすると好いと思ふ

子宮病と血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是迷ふ事無く眞に能く効く
神仙湯を

卽刻試みよ現に……
◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頗る難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみし人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸を病める人
など此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し一婦さの餘り懇篤な禮狀（現在保存の一般の閲覽に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく卽刻試みよ神仙湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

◎こんな徵候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛◎彼處此處と移動し◎何となく怠く◎腹張差込◎腹なり胸つかゑ◎溜飲◎食進まず又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎寒氣◎逆上◎血眼◎目暈◎耳鳴◎頭痛◎齒痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎根氣薄らぎ記憶あしく◎氣鬱◎癇高ぶり◎物事に感じ易く◎顏手足の浮腫等疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神仙湯を試みよ

價藥　半週卅五錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

本舖　製藥調劑　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎　電話西千五百二十七番　振替口座　東京一二四三番　大阪二二九五番

女鳩

渡邊默禪

「二十三」我家の音信

「おゝみんなお前の嗜きなものばかりぢや、誰から贈つて來たか、秀さんかね」

子爵は自分宛になつて來た書信の裏を一々檢めてゐたが、その目を解いた小包の上に流して、微笑しながら言つた。

「いゝえ住江からですわ」

「左樣か、おばアさんだけに能く氣が注くのう」

「あら、おばアさんなんて可哀想ですわ、お父樣、手紙も一緒に參りましたの、住江から」

鳩子は恁う言つて封を切らうとしたが、こんな混雜したなかで讀んで見ても身に染まなからうと思ひ返して大事さうに上衣の袖嚢に入れて了つた。いづれ後でゆつくりした氣分の時に、沁々と懷かしい筆の跡を辿るつもりであつたのだ。

「別段變つたこともあるまい、家には……恁うして鈴木から附箋をして廻して寄越すくらゐぢやからのう。秀さんからは手紙が來んかい」

「姉さまですか。いゝえ」もう一つの四角い方を把り上げて見て「何ですか繪端書のやうですわね。宛名は住江の手で書いてありますけれども、差出した人の名が書いてございませんのよ。あゝ分りました、姉樣からですわ。私し、過日山形から雪景色の繪端書を差上げたもんですから、その返禮に何か贈つて下すつたんでせう。必どインボルテッド(舶來品)か何かですわ」

それも普通の繪端書だと想はれたので、手紙と一緒に衣嚢に入れた。

「お父樣、此樣所で家の便を受取るのは樂しいものでムいますわね」

「爾うぢやとも、だから詩人は歌つとるぢやないか。旅行は人の性を改造する偉大な敎育者である。人が最も神に近い性格を帶びる時がありとすれば、それは家を離れて天涯の一角に、星と雲とを仰見げて涙を墮した時である。と恁ういふぢや。實際家庭が呪はしくなつたり、妻君が厭になつたり、子供がうるさくなつたりして、ブウ〳〵不平を言つとる癇癪持の男も、家を出て一週間も旅行をすると、心理狀態が一變して來て自分の家庭ぐらゐ好い所はない、自分の妻君は實に有難い女ぢや、子供は可愛いものぢやといふことが分つて來て、癇癪がけろりと治るといふからのう。アハヽヽ。お前なぞもいづれ良人を持つやうになつたら、この邊の呼吸を吞込んどいて、機嫌の惡い時に成るべく旅行をさせるとよい。是ほど不思議の妙藥はないといふぢやよ。アハヽヽ」

鳩子も又た傍に居合せた大野も、同じおかしさに釣込まれて笑ひ出した。

「あの、御夕飯前に紅茶を召上げませうか。お茶受もございますし」

「おゝ、頂戴しようかね。大野君も甘黨の方ぢや。一つ羊羹でもやり玉へ。此處へ來てはこんな物でも非常な珍味ぢやぞ。亞弗利加で鰹の刺身を食ふやうなものでの」

西洋料理、すき燒、ハイカラ丼 おいしい東京城第一との高評を博し居候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

器物がないので、有合せた土燒の土瓶で煮て、そして五郎八の茶碗で啜る。それが又た一層の野趣があつた。そのうちに熊の料理が出來上つて、三棟の小屋を食堂にしての大宴會が開かれた。生駒と大野の外に源作といつたやうな幹部連だけが子爵の前に集つて、祝杯を交換した。語る者、唄ふ者、踊る者、皿鉢をたゝいて囃し立てる者。忽ち小舍も破れるやうな騷ぎになつた。

鳩子は一人だけ先に晩餐を濟まして、四邊の喧然たる物音を小舍の片隅に避けた。さうして其處に置いてあつた大きな旅行鞄を机のかはりに上へ蠟燭を立てながら、急いで衣嚢から前の手紙を出した。封を切る前にその封皮へちよつと接吻して、憧憬の目を投げかけた住江の手蹟は、讀むに隨つて驚きの度を增すべき我家の一大怪事を書きつらねてある。見る〳〵彼女の眼は火のやうに輝いた。呼吸も停るかと思ふばかり、胸一杯の烈しい苦悶を感じて來た。渾身は顫れ手は顫ゐて、心臟は亂調に波打始めた。

新古雜誌交換 廻讀會 會員募集 圖書雜誌販賣 規定目錄進呈 振替京城三九〇四 京城本町一 電一三七八 松榮堂書店

□鼎坐句會

○
星沈みゐる水閣や蘆の露　山民
露深し納屋に灯の夜な見ゆる
渡鳥道に向けたる唐箕尻

○
賣らぬ米ありて藏持ち鷄頭花　北星
崖恐れつゝ住む家や鷄頭花
汽車過ぎて解けぬ烟や渡鳥

○
吃の姉常に無口や鷄頭花　東村
みとりする一念持てり鷄頭花
不具な兒にそゝぐ愛なり鷄頭花

新刊紹介

▲獨りけいこ(大槻校補山登著) 斗塔市に觀念な附し欧を添へたり帆かけ船以下十數曲を收む(十五錢大阪市南區鰻町三丁目川合名會社)

▲朝鮮鐵道靑年(九月號) 創刊號に論説と安全第一、成功の要訣、秋の衛生等の外講談には佛木講演の宣政力士傳あり(會員組織龍山鐵道協內共會)

▲虎疫の流行に就て警察署の方が如何にしい雜貨屋、飲食店に御臨檢下すつたことは非常に感謝致します虎疫の有無に拘はらず時々御願申ます(市民代表者)▲此頃は頻々として電車の事故あり市民を苦しむること多大なり嚴重なる其筋の御取締を望む(乘客より)▲學校の運動會が近づいて來たが例年觀覽席殊に來賓席の亂雜なことは閉口する今年は充分取締を頼みます(運動狂)▲帽子の紋が違ふだの何のかのと云てせツかく買た學生券を無効にする車掌が有る樣だすと我々夜學校通學者大いに困る官廳銀行會社に務むる者紋が違ひますよりですが帽子の違ふ者や無帽者には我は一度初て學生割引券を買たばかり買た許で使用する事は出來ませんか(夜學生)▲事は些細の樣だが當局者の手隙の時に畜犬脫税者の取調を願ひたい無鑑札又は紛はしき鑑札を著けた犬を多數見受る甚しきは他の犬の鑑札を拶ぎ取りて己れの犬に著けて居るものも少くない樣だ現に自分方の犬は昨朝誰かに五一一六號の鑑札を盜まれて仕舞つたヨボが飴と交換するのか夫れとも矢張内地人の仕業か尤も私の近所にも無鑑札の犬が跋扈して居る何れにしても迷惑千萬である(愛犬家)

▲登山の心得(農商務省山林局編纂) 登山の準備、登山の實行、遭難に際しての心得の三章より成り一般登山者及び探險家の心得べき事項を多數探險家の實驗及び意見を參酌して概括的に記述せるもの山岳趣味の漸く盛んなると共に之に伴ふ危險亦從つて多かんとする時に當つて本書の如き益する所多かるべきと信ず(定價不詳東京市赤坂區溜池町一大日本山林會)

▲幼年畫報(十月號) 綺麗戰史旅順の巻は巖谷小波氏が青山御殿に於ける御前口演の『木地獄』を繪卷物風にして載せ前附錄として『子供の一日』と題する小冊子を添附したるが頗る好評なりと云ふ(十二錢東京市日本橋區博文館)

▲飛行少年(十月號) 熱血小說三浦の爆彈(宮崎一雨)飛行家になる準備(予子少佐)戰爭小說海の牢獄(武田鶯塘)青島攻撃(大學生)立志小說父なき子(楠井吉久)探偵小說の光(山内秋生)五人兄弟(小野小峽)冒險小說金塊の行方(伊藤緑堂)長詩飛行少年隊(兒玉花外)など一々迫迎に遑なし(十二錢東京市京橋區本八丁堀日本飛行研究會)

◉早稻田大學講義錄　本邦講義錄界の首班として總長大隈侯爵、名譽學長高田博士の指導の下に卅餘年の經驗を有し政治經濟科、法律科、文學科、中學科、商業科等の各種講義錄を發行し來れる早稻田大學にては今回原稿の全部に大增補を加へ數多の新課目を増設し特に專門科の講義錄は全部ポイント式新活字に改版して面目を一新し校外生を募集すと親しく登校する能はざる篤學者の好伴侶たるべく規則を要する者は東京早稻田大學出版部に申込むべし

◉新たに發明せられたる白粉　東京神田東紺屋町堀越商店にては數年來和洋優良白粉の精製に腐心し專門技術に研究を委ねて其學理と實際的適品の製出に努力したる結果遂に學理と實際とを兼ねたる白粉の發明を見るに到れりホーカー液本舗より發賣し名けたり本白粉は一度世に現るゝや直ちに東京婦人界は賞讃を博し殊に各宮殿下を始め高貴御用の光榮に浴し一般の讃歎措く能はざる程なり尚ほ之を化學的作用によりて鮮彩目も眩む許りの美を現し到底從來の品に見る能はざる一種の神秘的の白粉也ホーカー液を發賣して信用内外に高き堀越商店の自信ある製品なれば靈妙不可思議の効能を有するは勿論也白粉を使用せらるゝ婦人各國方は不取敢ホーカー白粉を試用せらるべし

秋季の腦神經病療法

腦神經病患者諸君の福音!!

■秋口の腦神經病　大分良い時候になつた。大いに勉學すべく、運動すべく、活動すべしとは誰の頭にも浮ぶ處である。併し其勉學、運動、活動は、夏の暑い間比較的緩やかな安靜な休息的の狀態に置かれてあつた腦神經に急激な勞働を與へる處から屢々腦神經を害する事がある。强健な人は兎も角、少し弱い質の人は、此際特に頭腦と神經とを一氣に劇しく使ひ始める樣な事をしてはならぬ。是を過ると腦神經衰弱となるのである。

■虜への第一歩の時　斯うして秋口には腦の使方を過つて腦神經衰弱の新しい虜となる人が意外に多い。其容態は簡單に言へば、眩暈、頭痛、頭重、耳鳴、逆上、便秘、等が頻に起る。記憶力が衰へ物事に倦き易くなる。夜は充分に眠られず、覺めた時疲勞の感がある。喜怒哀樂凡て感情が夢的に强くなる。兎角悲觀に陷り一寸した事でも大變な難事に感じ、甚だ無精になる。食慾が減じて顏色惡く體にも心にも元氣がなくなる。是等の微候があつたら先づ腦神經衰弱の虜になりかゝつたものと見る可きである。

■愼む可き事々　腦神經衰弱の原因となる事々を擧げると、過度の勉學運動活動、一身一家の不幸等に關する感情の激動、酒煙草等凡て刺戟の强い物の過飲、不自然な行爲又は不規律不攝生の生活に因るので、病者は勿論、普通健康の人でも意志を堅くして充分節制せねばならぬ

■勸む可き事第一　心に體に極く輕い疲勞を感ずる位までの運動及仕事、其れを毎日時を定めて規則正しく行ふ事、早く寢て早く起き、少くも正味七時間以上眠る事。食事は消化し易くて滋養分多き物を採り、三度共時間を定める事等で、其他新鮮の空氣、深呼吸、靜坐法で、日光浴、電氣浴、冷水摩擦等も勸む可き方法である

■勸む可き事第二　病は凡て養生が第一である。愼む可き事を愼んで、勸むべき事を適宜に勵行して行つてゐれば、輕い腦神經衰弱は大概治る。けれ共此養生許りでは思ふやうに行かぬ程度になつてゐる人に、次に勸むべき事は、島村醫學博士が有効を證明された腦神經病藥として腦神經の疾患に格別の効果ある健腦丸を服用する事である

■何故に勸めらるゝ歟　何故此病者に健腦丸が勸めらるゝかと言ふと、健腦丸は世上普通の腦神經衰弱やヒステリー等に對する有効藥と稱する者とは其原料藥の撰擇、學理と實驗の二方面より充分研究せる調劑法の完全等に於て非常なる差があつて、延いて其効力の著しい事は幾多の愛用者諸君が實際に試して其優良なるを承認せられてゐる事で明かである。健腦丸は眩暈、逆上、耳鳴、便秘等の凡ての腦神經から來る故障を始め、腦神經を養ひ、飲酒家抔が少量宛持藥として腦卒中を未發に防ぎ、怖る可き腦充血を予防せしむる等種々の効果を奏する。腦神經病者で萬一未だ試めさぬ人又常に頭腦を劇しく使ふ人は、即刻健腦丸を服用して好結果を得られたいものである。藥價は四回分廿錢から十週分五圓迄種々あつて日本内地は素より海外の各藥房で販賣してゐる、若し遠隔の地で買切の場合は、大阪心齋橋筋又は東京日本橋區箔屋町丹平商會へ直接御注文を乞ふ

京日案内

普通一回前金一行二十錢 番外一回前金一行六十錢 ▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▼最新流行粋なはやり歌▲軍歌唱歌等色々取揃有 ウツボヤ書店 165

◉十歳より十五歳迄の弟子三名及七八位の弟子至急入用 本町二 電二五二七 下田洋服店 269

◉金融 月收の御方へ信用極秘立替御報伺上候 京城 大和町三不老湯前横丁下る 起木屋 275

◉貸家 京城鍾路日拔の場所 商店向き電話電燈水道付(姓名在社) 203

配達募集 年齢十七八歳より二十三歳迄 黄金町三の三二 新文堂 270

◉代診入用 經驗ある者希望者履歷書携帶午後五時過ぎ本人來談あれ 京城旭町三丁目 若槻醫院

◉松汀里光州間自動車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す ▲光州加藤自動車運輸部

◉産婆看護婦及見習生數名採用す 希望者は直接來談あれ 旭町一丁目 中央婦人病院 255

◉店員入用 本人來談 年齢十八歳以上 御得意廻り 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 254

姙婦産婦預所(規則申込次第送呈)○京城産婆院○ 京城南山町二の三五 電取次一三三九 148

◉貸金 官公吏學校職員等總て月收の方へ秘密信用融通御報 大和屋 256

◉古本熱心高價買入△御報參上 花園町八七 電車通質商

◉是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番 △本町四 書肆 群書堂 211

番外

支那語講習生募集 講習期間六ケ月午後八時より 此際至急申込まれたし 長谷川町銀行集會所前 同學社 243

◉露語の通譯 果實の直輸出業者、船舶運輸業者、貿易直輸入業者、醫藥業者 被雇たし 御通知次第本人面談(姓名在社) 271

◉社員募集 外交記者二名、營業部外勤員五名 在勤地京城府內、希望者は履歷書送れ、面會日通知す、報酬面談 京城本町一丁目 清光舘留置 前田和民 273

看護婦及見習看護婦女藥局生各數名至急入用 希望者は履歷書携帶來談あれ但し京仁間に保證人を要す 仁川高木病院

諸病灸點術 何病にても診察の上灸治す 東京万平灸 本町三丁目淨土宗開敎院入口 266

▲電話讓受たし 京城太平通二ノ三二〇 朝陽分拆所 261

◉京城春川間行自働車 春川發毎日午前八時出發 賃金片道四圓 京城南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務金正淵 195組

恩給 年金扶助 立替月利壹分 何年分でも御相談 京城若草町百六十番地 若草町停留場南入 一丁ポスト前突當り西入 西村商會 150

ゴム風船ゴムホース キルデサツク 外諸ゴム 其他各種ゴム製品製造卸 太陽ゴム商會 京城太平通大漢門前 電話二六〇六 振替二九三三 158

恩給 年金長期 短期無保險月利一歩二厘五毛 即時現金立替 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 168

●はねつき・うちみ・くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 179

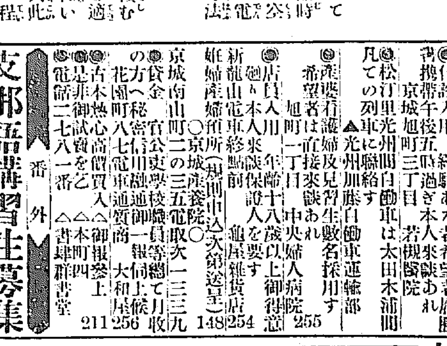
京城春川間乘合自働車 京城發前九時 春川發前七時半 賃金片道四圓 ◉京城水標橋通り 電話貳壹參八番 支配人松田壽男 ◉春川自働車商會 202

藥學講習生募集 夜間教授 九月三十日迄に申込まるべし規則書は市内各藥店に配附せり 事務所 黄金町三梅崎政雄方 藥學講習所 209

店員入用 年齢十五六歳より廿二歳迄 但し市内に確實なる保證人を要す 京城本町一丁目 ますや呉服店 259

▲各種鑛物分拆 京城太平通二ノ三二〇 朝陽分拆所 260

勸業債券高價買入 並に月賦濟崩販賣 京城太平通二丁目(電話二八三二) 商業銀行債券部 253



可愛い御子方の 小兒に宇津の救命丸 むし氣、かん、ちゝあれつ、ひきつけ 夜なき等の良藥 藥價 一圓、二十錢、三十錢、五十錢 本舗 下野國芳賀郡高根澤 宇津本舗 東京日本橋區馬喰町 宇津出張店

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第十共同丸 九月二十二日後四時入 九月二十四日前九時出帆
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 南大門 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○元山、小倉丸、西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○天頁丸
釜山港立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 九月 日 / 安東丸 十月一日 / 大智丸 九月廿四日 後五時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 / 信濃川丸 十月 日 後二時出
○群山、釜山、横濱行 福州丸 九月廿七日 / 潮州丸 十月九日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 木浦丸 九月廿七日 / 鎭南浦丸 後二時出
○信濃川丸 十月廿七日 / 十月十五日 後二時出
○大連直行 福州丸 十月三日 / 潮州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎭南浦行 天智丸 九月 日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) 印、八城津、西湖津 寄港 安平丸 十月六日 / 宮島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、芝罘、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 十月十一日 / 九月廿四日 後四時出 前六時出
御注意 朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道線との連絡切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 内國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 ○京畿丸 ○黄海丸 ○咸鏡丸 九月廿九日 / 九月 日 / 十月三日 / 九月廿三日 釜山發
○城津丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 九月 日 / 九月 日 / 九月廿四日 元山發
○忠淸丸 ○平壤丸 十月二日 / 九月廿七日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○金德丸 九月廿二日 釜山發
○江陵丸 ○咸陽丸 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 九月 日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 九月 日 木浦發
○慶興丸 九月 日 木浦發
○公州丸 九月廿四日 木浦發
○宗信丸 九月 日 仁川發
○江原丸 九月廿五日 仁川發
○光陽丸 ○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆
○君か代丸 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行 廿三日後四時
○大有丸 九月 日後四時出帆
○神代丸 九月 日後四時出帆
○秀吉丸 九月廿六日後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部

商況 ▲後場小甘し ▲後場の手振り ▲依然保合